



一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会

活動概要・開催実績



更新：2026年2月15日



一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会は

「鉄道を通じて高校生の社会性の向上 キャリアデザインの構築に寄与する」

をミッションに鉄道・教育に関するイベント・大会・勉強会を企画・主催する団体です。

活動方針

- ① 高校生が他者を交えて思考力・コミュニケーション力を養う機会を作る。
- ② 高校生の活動を評価する機会を作る。
- ③ 高校生が地域や運輸産業について学ぶ機会を作る。
- ④ ステークホルダーにとっても価値ある企画・運営を行う。

主軸となる活動

全国高校生鉄道SUMMERCONFERENCE (愛称：鉄サマ)



※2025年までは法人名と同じ「全国高校生地方鉄道交流会」の名称で開催

毎年夏の3日間、全国各地に中高生ががおもむいて、**鉄道を軸とした活性化策**を提案し交流する合宿形式おのイベント・大会





大会内容

過去の開催地

東は北海道、西は島根まで様々な地域の鉄道事業者様・自治体様のご協力で開催

<企画部門>

テーマに沿って鉄道を軸とした活性化案を提案・発表する部門

事前に開催テーマ、開催場所について調査し、
どのようなことをすると活性化できるかを話し合い、
実現に向けて企画提案を作成し、
最終日にプレゼンテーションを行います。

企画部門の過去の提案には
実際の鉄道活性化策として実現した実績もあります。

<写真部門>

沿線を題材とした写真を撮影する部門

事前または2日目に撮影を行い、優秀作品を最終日に表彰します。
優秀作は沿線に掲出されるばかりでなく、
各地でポスターなどPR媒体に2次利用されています。

<動画部門>

地域と鉄道の魅力を引き出す動画を制作する部門

事前に撮影・編集を行い、優秀作品を最終日に表彰します。
優秀作は各地で広告などPR媒体に2次利用されています。

※新部門の創設も検討中

第1回 2012年	秋田内陸縦貫鉄道 (秋田県)	第8回 2019年	JR花咲線 (北海道)
第2回 2013年	いすみ鉄道 (千葉県)	第9回 2020年	コロナ禍のため オンライン開催
第3回 2014年	一畑電車 (島根県)	第10回 2021年	富士急行(現 富士山麓電気鉄道) (山梨県)
第4回 2015年	三陸鉄道 (岩手県)	第11回 2022年	南海多奈川線 (大阪府)
第5回 2016年	のと鉄道 (石川県)	第12回 2023年	阿武隈急行 (福島県・宮城県)
第6回 2017年	鹿島臨海鉄道 (茨城県)	第13回 2024年	伊賀鉄道 (三重県)
第7回 2018年	東京モノレール (東京都)	第14回 2025年	宮城県美里町 協力：JR東日本小牛田統括センター

過去の大会の様子は [当法人公式ホームページ](#)、[YouTube](#)等を御覧ください



3日間の主な流れ

【1日目】

PM

- 開会式・オリエンテーション
- **鉄道施設見学**（車両基地、車両工場等）
- **講演**（自治体様、鉄道会社様、写真家様など）



【2日目】

AM

- 地元高校との交流
- **自治体職員様、鉄道会社職員様との交流・ディスカッション**

PM

- 各学校・生徒別のフィールドワーク
- 写真部門へ向けた**写真撮影**

夕方～夜

- 写真部門提出
- 企画部門修正案提出



【3日目】

AM

- **企画部門発表会**
- 審査（3部門）
- **講演（鉄道会社様、鉄道専門家・著名人等）**
- 表彰式



大会後の取り組み

企画部門最優秀校デザインのヘッドマーク提出



企画部門最優秀賞の副賞として、鉄道会社様のご協力の下、ヘッドマークのデザイン権を授与。沿線の特徴を織り込んだヘッドマークを高校生がデザインし、秋から冬頃に列車に掲出し走行。新たな集客効果も生んでいます。

その他の活動

- **勉強会・講演会** 地元高校との交流
- **見学会・体験会**
- **交流会**

主に中高生を対象に運輸産業、観光産業、まちおこしに関わる皆様、乗り物に関わる文化活動に取り組む皆様等をお招きし、勉強会・講演会・現場見学体験会・交流会等を開催。

ホスト校との交流内容 ①

- 第14回 ホスト校「宮城県小牛田農林高等学校」との交流
生徒会の皆さんと 農業クラブの皆さんが 出迎えて下さいました。

<https://youtu.be/ny6kNX8IZwa>



- 牛小屋見学 & キーホルダー作り

<https://youtu.be/q7n0ZLCbXeA>



ホスト校との交流内容 ②

■ 第12回 ホスト校「福島県立伊達高等学校」との交流 <https://youtu.be/HYvgx-HImyQ>

伊達高校 生徒会の皆さんと 新聞部の皆さんが 出迎えて下さいました。



伊達高校新聞「号外」全8ページ

伊達高校新聞 号外
伊達市ミニガイドブック【伊達高校新聞部版】

発行日 令和5年8月18日
発行者 伊達高校新聞部



保原高校(りんどう)と
梁川高校(桃)をテーマに
作成された伊達高校の校章

ようこそ 福島県立伊達高等学校へ

本校は、令和5年4月1日に、いずれも創立100年以上の歴史を持つ保原高校と梁川高校が統合して誕生した新しい高校です。市内唯一の県立高校として、「地域の未来を創造する人材の育成」を教育目標とし、普通科でありながら2年次から3つのコース(「進学キャリアコース」「地域キャリアコース」「ビジネスキャリアコース」)に分かれ、進学や資格取得に向けた丁寧な学習指導と進路指導により、大学進学から就職まで多様な進路希望の実現を目指しているユニークな高校です。

全国高校生地方鉄道交流会に参加される皆さんへ

この度、全国高校生地方鉄道交流会が福島県伊達市で開催されるということで、地元高校新聞部として、来校される全国の鉄道部に所属する高校生の皆さんにどのようなおもてなしができるかということを検討してきました。

伊達市は、NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」でも取り上げられた伊達政宗が幼少期を過ごした伊達氏発祥の地という歴史ロマンの詰まった地域です。また、国の史跡・名勝に指定されている壺山や一級河川の阿武隈川が流れるなど、自然豊かで肥沃な土地に恵まれています。さらに、桃や柿、苺などの多くの果物が栽培される農業の盛んな地域でもあります。

3日間という本当に短い期間ではありますが、お越しいただいた皆さんに少しでも伊達市の魅力が伝わればと思い、【伊達高校新聞部版】伊達市ミニガイドブックを作成することにしました。

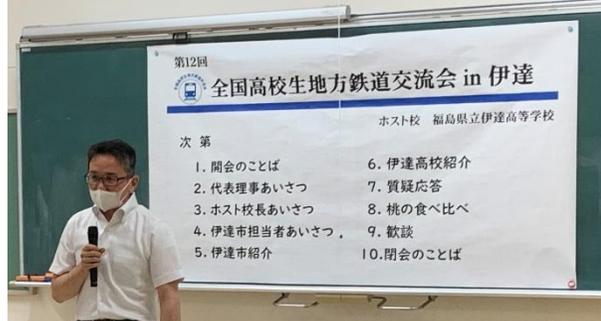
本ガイドブックより、本交流会に参加される皆さんに伊達市の魅力について少しでも知っていただき、高校時代の夏休みのよい思い出づくりの一助に少しでもいただければ幸いです。

阿武隈急行「福島駅」のキャッチコピー 「いでと果物の里」

p. 1

福島の桃 食べ比べ

種別名称	はつひめ	日南白桃	桃皇	ふくあかり	あかつき
<p>福島の桃 食べ比べ</p> <p>期間中、ホームページ上でいろいろな桃の品種や産地に関する情報を掲載しています。桃の産地や品種、食べ比べの楽しみ方など、ぜひご覧ください。また、桃の産地や品種に関するお問い合わせも、随時受け付けています。</p>	<p>はつひめ 7/23-7/28</p> <p>桃皇 7/23-7/28</p> <p>ふくあかり 7/23-7/28</p> <p>あかつき 7/23-7/28</p>	<p>桃皇 7/23-7/28</p> <p>ふくあかり 7/23-7/28</p> <p>あかつき 7/23-7/28</p>	<p>あかつき 7/23-7/28</p> <p>桃皇 7/23-7/28</p> <p>ふくあかり 7/23-7/28</p>	<p>あかつき 7/23-7/28</p> <p>桃皇 7/23-7/28</p> <p>ふくあかり 7/23-7/28</p>	<p>あかつき 7/23-7/28</p> <p>桃皇 7/23-7/28</p> <p>ふくあかり 7/23-7/28</p>



ホスト校との交流内容 ③

■ 第11回 ホスト校「大阪府立岬高等学校」訪問

岬高等学校は科目として、海洋生態探究・海洋スポーツイントラ・小型船舶機関などがあり、普段から、ふぐやワカメの養殖を行っています。校内のご案内と岬町内を生徒会の皆さんがご案内してくださいました。



■ 第8回 ホスト校「北海道根室高等学校」との交流

根室市がご用意くださった会場で、市長ご挨拶と参加者全員、そして、根室高等学校の皆さんと意見交換を行いました。

北海道根室高等学校 北方領土根室研究会の皆さんが市内をご案内してくださいました。



グループセッション 交流内容 ①

■ 第14回 宮城県美里町 <https://youtu.be/Yxu2audEl-o>

福原稔浩氏 (元近畿日本鉄道株式会社 名物広報マン)



武川健太氏 (鉄道写真家)



小野田恵一氏
(東日本旅客鉄道株式会社 東北建設PMO)



伊藤研一氏
(元東日本旅客鉄道株式会社 石越駅長)



小南友里氏 (宮城県美里町)



グループセッション 交流内容 ②

■ 第13回 伊賀鉄道／車両部門・運輸部門・企画部門



西日本旅客鉄道(株)



伊賀市



■ 第12回 阿武隈急行

企画営業・農家兼業

駅員・阿武隈急行の成り立ち、持続はどのようにしているか

運転士





第14回 宮城県美里町

協力：JR東日本 小牛田統括センター

- 開催期間： 2025年8月8日（金）～10日（日）
- 会場： 宮城県美里町
- テーマ： 歴史ある‘鉄道のみち・美里町’の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！
- 参加校： 広島県立三次高等学校、芝学園芝中学校芝高等学校、東京農業大学第二高等学校・中等部、清風南海中学校・高等学校、福島工業高等専門学校、奈良育英高等学校、東北学院中学校・高等学校、成城中学校・高等学校、松美高等学園、古川学園高等学校
全10校（内オンライン2校） / 参加人数76名 / 引率13名 / ■一般聴講者数 52名
- 後援： 国土交通省、文部科学省、宮城県、宮城県教育委員会、美里町、美里町教育委員会、東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター、宮城県私立中学高等学校連合会、一般社団法人日本民営鉄道協会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会、NHK仙台放送局、一般社団法人美里町物産観光協会、株式会社宮城テレビ放送、knb東日本放送、河北新報社、株式会社大崎タイムズ社、日刊工業新聞社、株式会社交通新聞社
- 協力： 美里町地域おこし協力隊

2025年8月8日(金) 開会式～講演会

■開会式：美里町立美里中学校 1F みさとホールにて <https://youtube.com/live/qxCf2cdtFoA>



宮城県美里町 副町長
須田政好氏のご挨拶



元東日本旅客鉄道株式会社
石越駅長
伊藤研一氏のご挨拶

■美里町 産業振興課 主幹
商工振興係長 兼 観光振興係長 小南友里氏
講演：鉄道と地元産業との関わり～今までとこれから～



■鉄道写真家 武川健太氏
講演：「福幸もたらす鉄道と人の力」写真家として鉄道と関わり、なにができるのか？
～好きを生かすアイデアと、伝わる写真の撮り方～



■元近鉄広報マン 福原稔浩氏
講演：～阪神に憧れた少年が、近鉄の名物広報マンになるまで
そして新たな挑戦～「運命の分岐点を越えて——鉄道と共に歩んだ50年」



■東日本旅客鉄道株式会社 東北建設プロジェクトマネジメントオフィス
北東北プロジェクトセンター 小野田 恵一氏
講演：元高校鉄道研究部部長のJR社員が語る「わたしの地図の読み解き方」



2025年8月8日(金) グループトークセッション

■ 5グループ / ※講師が時計回りに次のテーブルに移動

<https://youtu.be/Yxu2audEl-o>

1. 福原稔浩 (元 近畿日本鉄道株式会社)
2. 小野田恵一 (東日本旅客鉄道株式会社 東北建設PMO)
3. 武川健太 (鉄道写真家)
4. 小南友里 (美里町産業振興課)
5. 伊藤研一 (元東日本旅客鉄道株式会社)



■ 福原稔浩氏から 各校にサイン色紙プレゼント

集合写真▶



■ じゃんけん大会 / 20名にサプライズプレゼント
美里町陸羽東西線100周年記念クリアファイル (非売品)
※美里町産業振興課より



2025年8月9日(土) ホスト校 宮城県小牛田農林高等学校 交流

ホスト校：宮城県小牛田農林高等学校 生徒会・農業クラブ
開催場所：宮城県小牛田農林高等学校 3F 合同講義室



宮城県小牛田農林高等学校
教頭 佐藤充伸氏 にご挨拶



美里町教育委員会 教育総務課
地域プロジェクトマネージャー
大村昇氏 にご挨拶

■ 学校紹介

<https://youtu.be/ny6kNX8IZwA>

■ 育てた草花を使用しての キーホルダー作り



■ 牛小屋見学

<https://youtu.be/q7n0ZLCbXeA>



集合写真▶



2025年8月9日(土) 軌陸車デモンストレーション

■ 軌陸車

軌陸車テック株式会社 総務部 経営戦略グループ 村上諒主任

開催場所：宮城県小牛田農林高等学校 駐車場

デモンストレーション：<https://youtu.be/sd9WiYEMpRI>

①生徒は軌陸車から5mほど離れて弧を描くように集まり、実演を見学。

②実演終了後 軌陸車に近づいて見学

③代表生徒2名 軌陸車運転室の見学

※各校代表者 じゃんけんで2名選出



2025年8月10日(日) プレゼン発表～講演

開催場所：美里町駅東地域交流センター 1F 多目的ホール

<https://youtu.be/0S5SKmK1TCM>

■ 審査員

- ①宮城県美里町長 相澤清一氏 《審査委員長》
- ②東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター 所長・小牛田駅長 渡邊和利氏
- ③一般社団法人 美里町物産観光協会 副会長 平哲弥氏
- ④鉄道写真家・フォトエディター 武川健太氏
- ⑤東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹氏



宮城県美里町長
相澤清一氏ご挨拶



東日本旅客鉄道株式会社
小牛田統括センター 所長
小牛田駅長
渡邊和利氏ご挨拶

■ プレゼン風景



■ 鉄道解説系YouTuber・鉄道アナリスト 鐵坊主氏

講演：「鉄道まちづくりの方向性～皆さんの発表を受けての今後の展開～」



■ 各校にサイン色紙プレゼント／鐵坊主氏・武川健太氏



企画部門 表彰

■美里町長賞【成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部】

企画部門

美里町活性化案

成城中学校・成城高等学校鉄道研究部



残り時間 08:00



■東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター所長賞【清風南海学園 清風南海高等学校 鉄道研究部】



第14回全国高校生地方鉄道交流会 清風南海学園鉄道研究部



企画部門



残り時間 08:00

■一般社団法人美里町物産観光協会 会長賞【広島県立三次高等学校 芸備線を盛り上げる会】

企画部門

歴史ある・鉄道のまち・美里町、の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！



残り時間 07:56



写真部門 表彰 ①

▼美里町長賞 【田園気動車／田辺悠成／成城中学校・成城高等学校】



▼東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター所長賞
【黄昏時の鳴瀬川／今井陽希／古川学園高等学校】

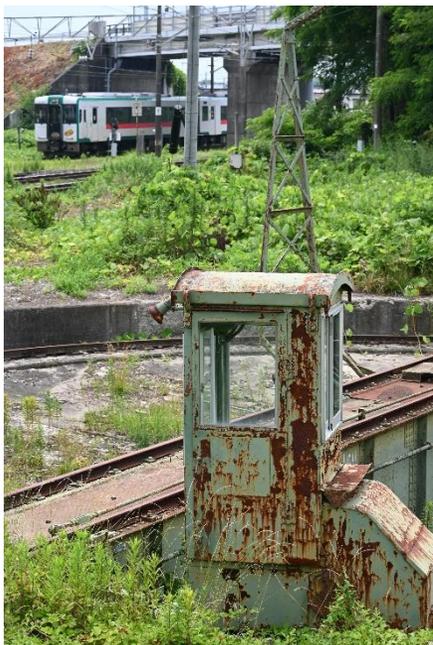


▼武川健太賞
【いざ、石巻へ／鷺巣雅楽／芝学園 芝中学校・芝高等学校】



◀一般社団法人美里町物産観光協会 会長賞
【暑い日、駅のベンチの上で／宮澤 遼／東京農業大学第二高等学校・中部部】

■佳作



『見守る！美里の転車台』
市谷直澄／清風南海学園 清風南海高等学校



『年少時代』
松下結仁／成城中学校・成城高等学校



『田んぼのなかの一本路』
池見凜太郎／芝学園 芝中学校・芝高等学校



『揺れる稲、雲の下をすべりゆくYukemuri Line』
齊藤史泰／成城中学校・成城高等学校



『夏空と疾走』
名取 翼／東京農業大学第二高等学校・中部部

動画部門 表彰／副賞・ノベルティ

■ 動画部門

美里町長賞 【集結と発信の地、美里／芝学園芝中学校・芝高等学校 交通研究部】 <https://youtu.be/O1dpEHZ11rA>



◀ ボランティア活動認定証 贈呈

■ 副賞

企画部門 美里町長賞／ヘッドマークデザイン権 ▶宮城県内を走る阿武隈急行線（2023年開催地）に掲出
写真部門・動画部門 入賞作品 ▶美里町物産観光協会の展示スペースに展示

▼ 美里町長賞／北浦梨1箱



◀ 東日本旅客鉄道株式会社
小牛田統括センター所長賞
特急イブニングウェイ ヘッドマークレプリカ
世界に6個しかない逸品



■ ノベルティ

- 美里町／ボールペン、クリアファイル、観光ガイドマップ、缶バッジ
- JR東日本 小牛田統括センター
／うちわ、アイマスク、クリアファイル、クリップ、メモ帳
- JR東日本 東北建設PMO／オリジナルトートバック、シール
- 美里町物産観光協会／タオル
- 元近鉄名物広報マン 福原稔浩氏／ステッカー
- 地鉄交流会／缶バッジ

▲ 一般社団法人

美里町物産観光協会 会長賞
「とんたろう 詰め合わせ」

▲ 武川健太賞

武川健太ファースト写真集
「花鳥鉄道風月線」 ＊サイン入り



2025年12月18日 ヘッドマーク授与式／写真動画展

- 写真・動画展 ※入賞作品展示 【開催期間】2025年12月13日（土）～12月28日（日） <https://youtu.be/wsmisMJme8>
- ヘッドマーク授与式 【開催日】2025年12月18日（木）
- ※実施場所：美里町総合案内所（JR小牛田駅内）

■成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部 HM 掲出列車に乗車し、小牛田入り



■ヘッドマーク（レプリカ）授与

▼ご自身がデザインしたHMを贈呈する 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部 亀石悠太さん



美里町
ご挨拶
相澤町長



成城中学校・成城高等学校
鉄道研究部部長 西山陽希さん
受賞のお言葉



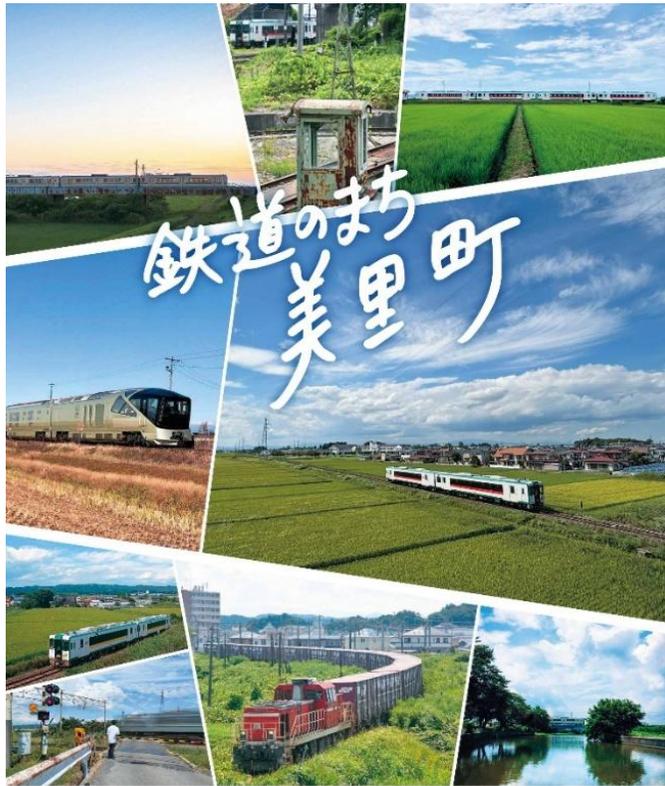
▲
デザインは 成城中学校・成城高等学校
鉄道研究部 前田祐作さん
贈呈は 鉄研 西山部長から。



美里町PRポスターに採用／広報・パブリシティ ①

■美里町PRポスター

※写真部門入賞作品から6作品採用



青春シャッター、僕らの美里。

第14回全国高校生地方鉄道交流会【写真部門】受賞作品



美里町産業振興課 (kanku@misato-city.jp)

〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1



(一) 美里町教育委員会 (kanku@misato-city.jp)
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1
TEL 0229-22-3299 (http://www.misato-city.jp)

■集合写真



第14回全国高校生地方鉄道交流会

募集要項

開催日時：8月8日(日)～10日(火)
会場：美里町 駅東地域交流センター
参加費：無料
申込期間：7月11日(金)～7月18日(金)

募集内容

- 企画部門**：テーマに沿った企画を提案し、実行計画を提出する。実行計画が採択された場合は、実行費が提供される。
- 写真・動画部門**：美里町の魅力を捉えた写真や動画を撮影し、コンテストに出展する。
- 企業部門**：美里町の魅力を捉えた写真や動画を撮影し、コンテストに出展する。
- 入賞校に贈られる賞状**：各賞状には、美里町の魅力を捉えた写真や動画を添付し、美里町に送付する。

8-10 August | 2025
参加校募集

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

募集内容

1 企画部門：テーマに沿った企画を提案し、実行計画を提出する。実行計画が採択された場合は、実行費が提供される。

2 写真・動画部門：美里町の魅力を捉えた写真や動画を撮影し、コンテストに出展する。

3 企業部門：美里町の魅力を捉えた写真や動画を撮影し、コンテストに出展する。

8-10 August | 2025
参加校募集

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

第14回全国高校生地方鉄道交流会

参加校募集

鉄道のみち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小牛田で開催～

8/8-10

美里町駅東地域交流センター
〒987-8501 宮城県美里町美里1-1-1

募集案内／開催案内▶

■公式よりRELEASE

PRESS RELEASE



2025年4月15日

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
代表理事 大清貴之

**鉄道のまち 美里町 ふたたび！
～交通の要衝 小川田で開催～**

**【第14回全国高校生地方鉄道交流会in宮城県美里町】
2025年8月8日(金)～10日(日)開催決定！**

今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、地鉄交流会)を宮城県美里町の協力を得て、2025年8月8日(金)～10日(日)に開催します。



1/4



地鉄交流会は70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部の教師が始めた、高校生・中学生による、地方創生の企画提案や写真の技術を競うもの。全国に高校生たちが集い、鉄道を軸とした地域の活性化企画を提案します。提案が、実際の鉄道活性化へと実現し実績も多数。写真・動画部門では、優秀者が各地のPR媒体に採用されています。これまで、秋田内陸縦貫鉄道、いずみ鉄道、一畑電車鉄道、三陸鉄道、のた鉄道、鹿島線鉄道、東京メトロ丸の内線、JR北海道、2020年はコロナ禍のためリモート開催、富士急行、南海電気鉄道、阿武野急行、昨年より伊豆鉄道で開催しました。第14回は歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！今回は宮城県美里町の協力のもと、美里町会第20周年誌事案として、美里町・小川田駅周辺各施設を舞台に開催します。



今年のテーマは『歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！』地鉄交流会の周年を通じたテーマ『地域創生(鉄道の役割)をどう果たせるのか、高校生・中学生ならではのアイデアを競い合ってもらいたい。』

東北北線・陸羽東線・石巻線、JR3線が交わる交通の要衝 小川田駅を有する「美里町」【鉄道のまち 美里町】の魅力を全国に発信でき、他府県からの観光客をどのように誘客するのか、各校学生それぞれ異なる着眼点や考えられた企画に期待したい。



2/4



第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

【開催名】 第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町
【テーマ】 通年『地域創生と鉄道の役割』
第14回『歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！』
【開催期間】 2025年8月8日(金)～10日(日)
【開催場所】 宮城県美里町

【開催内容】 ・8月8日(金) 開会式
講演：藤原裕枝氏(元近畿日本鉄道株式会社 広報マン)
講演：武川健太氏(鉄道写真家・フォトエディタ/宮城県石巻市在住)
・8月9日(土) 沿線調査研究・写真・動画撮影
・8月10日(日) 企画部門プレゼンテーション
表彰式：企画部門、写真・動画部門
講演：藤岡圭氏(鉄道解説系 YouTuber・鉄道アナリスト)

【主催】 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
公式HP <https://chitetsukoryu.org/>
公式Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>
公式X <https://x.com/chitetsukoryu>
公式Instagram <https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>
公式YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC8t5m1at07>

【協力】 宮城県美里町 <https://www.town.misumi.miyagi.jp/>
宮城県美里町地域おこし協力隊

【観覧】 <https://chitetsukoryu.org/2025misato/>



3/4



第14回全国高校生地方鉄道交流会 各部門

※参考写真：第13回地鉄交流会より
【企画部門】
【優秀校】 ヘッドマークデザイン権 授与



【写真・動画部門】
【優秀作品】 美里町・小川田駅周辺等にて撮影予定
※全国高校生地方鉄道交流会
※全国高校生地方鉄道交流会

【企画部門】
【賞状】 優秀を模した賞状を授与 ※優秀校に該交流会の表彰書を贈ります



4/4

問い合わせ先：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局
〒154-0024 東京都目黒区三軒茶屋2-19-3-202
e-mail: info@chitetsukoryu.org TEL:03-6822-2835
広告担当：奥山令子

PRESS RELEASE



2025年7月10日

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
代表理事 大清貴之

**交通の要衝小川田駅を有する鉄道のまち「宮城県美里町」
高校生・中学生が企画で新入りむ！**

**【第14回全国高校生地方鉄道交流会in宮城県美里町】
2025年8月8日(金)～10日(日)開催！**

今年で第14回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、地鉄交流会)を宮城県美里町の協力を得て、2025年8月8日(金)～10日(日)に開催します。



1/5



地鉄交流会は70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部の教師が始めた、高校生・中学生による、鉄道を軸とした地域の活性化企画を提案する大会。対象地域：高校生たちが集い、鉄道を軸とした地域の活性化企画を提案します。提案が、実際の鉄道活性化へと実現し実績も多数。写真・動画部門では、優秀者が各地のPR媒体に採用されています。これまで、秋田内陸縦貫鉄道、いずみ鉄道、一畑電車鉄道、三陸鉄道、のた鉄道、鹿島線鉄道、東京メトロ丸の内線、JR北海道、2020年はコロナ禍のためリモート開催、富士急行、南海電気鉄道、阿武野急行、昨年より伊豆鉄道で開催しました。第14回は歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！今回は宮城県美里町の協力のもと、美里町会第20周年誌事案として、美里町・小川田駅周辺各施設を舞台に開催します。



今年のテーマは『歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！』地鉄交流会の周年を通じたテーマ『地域創生(鉄道の役割)をどう果たせるのか、高校生・中学生ならではのアイデアを競い合ってもらいたい。』

東北北線・陸羽東線・石巻線、JR3線が交わる交通の要衝 小川田駅を有する「美里町」【鉄道のまち 美里町】の魅力を全国に発信でき、他府県からの観光客をどのように誘客するのか、各校学生それぞれ異なる着眼点や考えられた企画に期待したい。



2/5



第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

【開催名】 第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町
【テーマ】 通年『地域創生と鉄道の役割』
第14回『歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！』
【開催期間】 2025年8月8日(金)～10日(日)
【開催場所】 宮城県美里町

【開催内容】 ・8月8日(金) 開会式
講演：藤原裕枝氏(元近畿日本鉄道株式会社 広報マン)
講演：武川健太氏(鉄道写真家・フォトエディタ/宮城県石巻市在住)
・8月9日(土) 沿線調査研究・写真・動画撮影
・8月10日(日) 企画部門プレゼンテーション
表彰式：企画部門、写真・動画部門
講演：藤岡圭氏(鉄道解説系 YouTuber・鉄道アナリスト)

【主催】 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
公式HP <https://chitetsukoryu.org/>
公式Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>
公式X <https://x.com/chitetsukoryu>
公式Instagram <https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>
公式YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC8t5m1at07>

【協力】 宮城県美里町 <https://www.town.misumi.miyagi.jp/>
宮城県美里町地域おこし協力隊

【観覧】 <https://chitetsukoryu.org/>



3/5



第14回全国高校生地方鉄道交流会 開催案内

【開催名】 第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町
【テーマ】 通年『地域創生と鉄道の役割』
第14回『歴史ある鉄道のまち・美里町の観光資源を観光に誘客に繋げるために！』
【開催期間】 2025年8月8日(金)～10日(日)
【開催場所】 宮城県美里町

【開催内容】 ・8月8日(金) 開会式
講演：藤原裕枝氏(元近畿日本鉄道株式会社 広報マン)
講演：武川健太氏(鉄道写真家・フォトエディタ/宮城県石巻市在住)
・8月9日(土) 沿線調査研究・写真・動画撮影
・8月10日(日) 企画部門プレゼンテーション
表彰式：企画部門、写真・動画部門
講演：藤岡圭氏(鉄道解説系 YouTuber・鉄道アナリスト)

【主催】 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
公式HP <https://chitetsukoryu.org/>
公式Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>
公式X <https://x.com/chitetsukoryu>
公式Instagram <https://www.instagram.com/chitetsukoryu/>
公式YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC8t5m1at07>

【協力】 宮城県美里町 <https://www.town.misumi.miyagi.jp/>
宮城県美里町地域おこし協力隊

【観覧】 <https://chitetsukoryu.org/>



4/5



第14回全国高校生地方鉄道交流会 各部門

※参考写真：第13回地鉄交流会より
【企画部門】
【優秀校】 ヘッドマークデザイン権 授与



【写真・動画部門】
【優秀作品】 美里町・小川田駅周辺等にて撮影予定
※全国高校生地方鉄道交流会
※全国高校生地方鉄道交流会

【企画部門】
【賞状】 優秀を模した賞状を授与 ※優秀校に該交流会の表彰書を贈ります



問い合わせ先：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局
〒154-0024 東京都目黒区三軒茶屋2-19-3-202
e-mail: info@chitetsukoryu.org TEL:03-6822-2835
広告担当：奥山令子

5/5

■ 教育家庭新聞 7月19日



■ 開催概要

- 【テーマ】
 - ・ 近年《地域創生と鉄道》の発展
 - ・ 第14回《歴史ある鉄道のまち、美里町》の観光資源を発見し誘客に繋げるために！
- 【開催期間】
 - 8月8日(金)～10日(日)

- 【企画部門プレゼンテーション会場】
 - 美里町会場 駅東地域交流センター 1F 多目的ホール
- 【日時と実施内容】
 - 8月10日(日) 10:00～15:00
 - ・ 企画部門プレゼンテーション
 - ・ 表彰式：企画部門、写真、動画部門
 - ・ 講演：協賛主任（鉄道解説者YouTuber・鉄道アナリスト）「鉄道まぜぶりの方向性～各校の発表を受けての今後の展望」
- 【参加校】※エントリー順
 - ・ 広島県立三次高等学校（広島県）
 - ・ 芝学園 芝中学校・芝高等学校（東京都）
 - ・ 東京農業大学第二高等学校・中野部（群馬県）
 - ・ 清風素書学園 清風素書高等学校（大分県）
 - ・ 福島工業高等学校（福島県）
 - ・ 奈良育英中学校・高等学校（奈良県）
 - ・ 東北学院中学校・高等学校（宮城県）
 - ・ 成城中学校・成城高等学校（東京都）
 - ・ 松美高等学校（埼玉県）
 - ・ 吉川学園高等学校（宮城県）

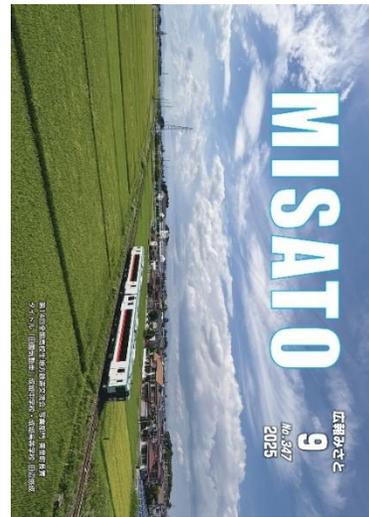
■ 軌陸車テック株式会社 7月24日



2025年8月8日から10日にかけて、宮城県美里町で開催されるイベント「第14回 全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町」におきまして、軌陸車を出展いたします。全国高校生地方鉄道交流会は、高校生が鉄道の未来を考え、自国鉄や鉄道会社に対しプレゼンを行うイベントです。毎年地域を変えて開催されています。

軌陸車の展示、デモンストレーションは8月9日の開会を向けとなりますが、8月10日は一般の方もご来場いただけます（観覧無料）。ぜひこの機会に足をお運びください。イベントの詳細はコチラ

■ 広報みさと 8月号・9月号



合併20周年記念事業
第14回 全国高校生鉄道交流会 in 宮城県美里町

全国の高校生・中学生による鉄道を軸とした地域の活性化企画案を発表する大会、「第14回全国高校生鉄道交流会 in 宮城県美里町」が、8月8日（金）～10日（日）の日程で、駅東地域交流センターなどを会場に開催されます。

10日（日）は、駅東地域交流センターで、全国から集まった10校の学生による活性化企画案の発表、各部門の表彰が行われます。観覧無料ですので、ぜひご来場ください。

広報みさと 美里町合併20周年記念事業 第14回 全国高校生地方鉄道交流会

8月8日から10日にかけて、全国の高校生・中学生による鉄道をテーマとした地域の活性化企画案を発表する大会「第14回全国高校生地方鉄道交流会in宮城県美里町」が駅東地域交流センターなどで開催されました。

最終日の10日には、駅東地域交流センターで、全国から集まった学生たちによる鉄道を活用した美里町の活性化案の発表と写真、動画、企画部門に分かれて表彰が行われました。なお、表彰者は次のとおりです。（敬称略）

- 写真部門
 - ▶ 美里町賞 ※表紙に掲載
成城中学校・成城高等学校 田辺悠成
「田園気動車」
 - ▶ 武川龍太賞
芝中学校・芝高等学校 鈴木優奈
「いざ、石巻へ」
 - ▶ 一般社団法人美里町観光協会賞
東日本旅客鉄道株式会社
中部部 宮澤 遼
「暑い日、駅のベンチの上で」
 - ▶ 東日本旅客鉄道株式会社
小牛田統括センター所長賞
吉川学園高等学校 芳井隆尚
「真夏の滝の滝川」
- 動画部門
 - ▶ 美里町賞
芝中学校・芝高等学校 交通研究部
「集積と発足の地、美里」
- 企画部門
 - ▶ 美里町賞
成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部
 - ▶ 東日本旅客鉄道株式会社
小牛田統括センター所長賞
清風素書高等学校 鉄道研究部
 - ▶ 一般社団法人美里町観光協会賞
広島県立三次高等学校 芸術部を盛り上げる会

▲表紙：写真部門 美里町長賞 受賞作品
 「田園気動車」
 田辺悠成さん（成城中学校・成城高等学校）

■ 東洋経済ONLINE 8月18日

2025/08/18 10:30 「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上

「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上

高尾 正典 取材・文芸春秋



美里町駅。JR東日本が通勤ライナーを運行する。美里町駅は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

【鉄道】を資源に町の活性化を 美里町駅に隣接する美里町は2006年6月1日（土）に「鉄道の町」として誕生した。美里町はJR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

2025/08/18 10:30 「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上



美里町駅。JR東日本が通勤ライナーを運行する。美里町駅は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

町の活性化を推進する。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。



美里町駅。JR東日本が通勤ライナーを運行する。美里町駅は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

2025/08/18 10:30 「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想 宮城県美里町、JR東は通勤ライナーで利便性向上

■ dmenuニュース 8月18日

dmenu ニュース

dメニュー ニュース > 経済 > 記事詳細

「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想

美里町オンライン 8月18日 13:00

鉄道を使ってどうやって町を活性化させるか、若い人たちの知恵を貸してほしい――。「鉄道の町」を自認する宮城県美里町（みさとまち）の呼びかけに応え、全国の中・高校生が美里町に集結した。彼らは自分の足で町内を歩いて様子を観察し、列車に乗って利用状況を確認し、その結果を踏まえたアイデアを8月10日に披露した。どんな提案が出されたのか。



「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想

「鉄道」を資源に町の活性化を

宮城県の北東部に位置する美里町は2006年に小牛田（こごた）町と権町が合併して発足した。町全体に田園風景が広がる美しい町だ。

町の基幹産業は農業である。平坦な土地と豊かな水を生かし、水田や畑の面積の7割を占める。一方で、ベッドタウンとしての側面も持つ。隣接する石巻市や大崎市、さらには列車で45分程度の距離にある仙台市の通勤・通学圏として定住する人が多く、宅地開発が盛んだ。

■ 大崎タイムス 8月17日

新聞記事抜粋: 大崎タイムス 8月17日. 美里町 Sレジャー、新駅開発: 地方鉄道の可能性を探る. 全国高校生交流会. 美里町駅. 美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。美里町は、JR東日本の通勤ライナー「あまのり」の停車駅である。

■ livedoorNews 8月18日

ニュース検索

livedoor News

ニューストップ > IT 経済ニュース > 経済特命ニュース > 「鉄道の町」どう活性化？ 高校生たちの斬新な発想



宮城県美里町で開いた「全国高校生地方鉄道交流会」の初日。全国から高校生らが集まった。（記者撮影）

これらの発表を聴講した地元住民からは「よく調べている」「町民も知らないことが多かった」という声が続出した。相澤町長も「斬新なアイデアが多くびっくりした」と率直な気持ちを書いた。一方で、後で聞いた話だが、「実現するとしらら一体いからかんだ」「サシオペアを欲しがる自治体は全国にたくさんある」という否定的な声もなかったわけではない。

しかし、学生たちのアイデアが実行可能かどうかよりも重要なことがある。それは、このイベントを契機として美里町が次のような行動に出るのか、住民たちがどのような行動を起こすのかだ。

■ 交通新聞社 8月19日号第3面

新聞記事抜粋: 交通新聞社 8月19日号第3面. 全国高校生地方鉄道交流会 宮城県美里町で開催. 美里町長を要請した成城中学校・成城高等学校鉄道研究会. 美里町長を要請した成城中学校・成城高等学校鉄道研究会. 美里町長を要請した成城中学校・成城高等学校鉄道研究会.

■河北新報

8月20日



■鉄道チャンネル 9月6日

鉄道チャンネル

トップページ > コラム
> 「歴史ある鉄道のまちの未来を高校生がつくる！」14目の地鉄交流会、JR3線が集まる宮城県美里町で開催【レポート】

「歴史ある鉄道のまちの未来を高校生がつくる！」14目の地鉄交流会、JR3線が集まる宮城県美里町で開催【レポート】



鉄道のまち美里。小牛田駅の駅舎にはキハ110美里号も、2016年に鉄道交流のローレル賞を受賞したJR-E231系ほか、さまざまな事業用車両が並びます。(撮影:筆者)

■宮城県美里町地域おこし協力隊通信

「みさすて」令和7年9月第13号



鉄道を愛する高校生の情熱は翌春・酷暑の2025年夏も変わらない！ 迎えて14回目の「全国高校生地方鉄道交流会（地鉄交流会）」が2025年8月8～10日、宮城県美里町で開催されました。地元東北ほか、関東や遠くは広島から駆け付けた全国10校が利用促進や地域振興のアイデアを競いました。

東北線から陸羽東線（奥の細道湯けりライン）、石巻線が分岐する美里町は明治の昔からの鉄道のまち。空開きの小牛田駅は国鉄時代、機関区などの現場機関が置かれ、C58などのドラフト音を通じて「小牛田音」で明け暮れたファンも少なくありません。

そんな小牛田には、今も鉄道遺産がいっぱい、交流会でも、「駅の転車台に、町内で静態保存されるSL（C11-367）を乗せて、地域のシンボルに」など、鉄道ファンなら思わずびそびそ打つ言葉がありました。

さらに、交流会ラストにはサプライズの発表も。地鉄交流会は2026年の次回から、第2章に新展開します。



参加全校で記念撮影。2026年の「SUMMERカンファレンス」での再会を約束しました。(写真:全国高校生地方鉄道交流会)

鉄研のインターハイ

高校生のクラブ活動で、全国大会のような発表の場のない鉄研（鉄道研究会）にスポットライトを当て、一部校が「鉄研のインターハイ」を発想。2024年に秋田県の秋田内陸縦貫鉄道で初開催後、各地の地鉄をめぐる形で回を重ねてきたが地鉄交流会です。

ここへきての新しい動き、それは開催地が交流会会場に乗り出したことです。100人近い高校生が一定期間、地域に滞在して情報発信すれば、恒応のPR効果も期待できます。

開催地の美里町は地域おこし協力隊の活動で「鉄道によるまちづくり」に取り組みます。美里町の協力隊は交流会を誘致し、運来の高校生を歓迎しました。

鉄道3線が十字にクロス

美里町と鉄道。小牛田駅の開業は明治中期の1890年4月。私鉄の日本鉄道が密切（仙台市）～一ノ戸（岩手県）を延伸したのに併い小牛田駅が誕生しました。

大正年間には、仙北軽便鉄道（現・石巻線）と陸羽線（現・阿武隈線）が開通。小牛田は東北線真ん中からローカル2線が分岐する。鉄道のまちとして発展しました。

仙台～小牛田は43.2キロ、中間1駅。所要44分。小牛田は、仙台都市圏・通勤圏の一定の企業拠りといえそうです。

深夜までプレゼン資料を繰る

3日間の地鉄交流会。初日は美里中学校で鉄道のプロ3人の話を聴きました。そのお一人が元近鉄の各物広報マン福岡浩志さん。鉄道を主とした地域づくりを説きました。



元近鉄各物広報マンの福岡浩志さんは参加校のワークショッアップでプロの現場マテリアル。(写真:全国高校生地方鉄道交流会)

2日目は地元・小牛田美里高校との交流会。鉄道の保線作業などの隠れた主役、線路と道路の両方を走れる陸行車のデモンストレーションのプログラムも組まれました。

参加校は、発表内容を締め切りギリギリまでアップデート。交流会事務局によると、参加全校がプレゼン資料を差し替えました。

最終日は、小牛田近隣の地域交流センターでプレゼンテーション（発表会）。各校8分間の持ち時間で成果発表しました。

観光列車「すいせい」（成城高）

参加10校（一部リポート）のうち、最優秀賞の美里町に輝いたのは東京都新宿区の成城中学校鉄道研究会。「学園都市こと。」[美里町]のまち作戦。「バスによる交通改善」、「小牛田駅前へ美里町駅設備移転とSL展示」、「美里町を仙台市のベッドタウン」の5項目を提案しました。

まちのまは進みわたった成城の美里ならではの地域振興策で、観光になった小牛田中学校を宇宙展示施設にリニューアルします。鉄道がみても、陸羽東線などを走るキハ110の意を上部に広げて観光列車「すいせい」（仮称）。キハ110の観光列車化は、2013年にデビューした「TOHOKU EMOTION（東北エモーション）」がお手本です。

【SL（C11）を転車台に】（清風南海）

次点の秋田県小牛田結核センター所属賞は、矢野南石市町の清風南高等学校鉄道研究会に、成城と同じく注目した小牛田公園に静態保存されたSL・C11で、これを小牛田駅前へ移設して転車台に据えます。

同校がお手本にしたのが、美里町と同じ鉄道のまち・京都府福知山。2023年8月には福知山山麓公園に「福知山鉄道博物館」がオープン。SL・C58 56の静態保存や観光シミュレーター、鉄道ジオラマを目標として、多くの鉄道ファンが訪れます。

ハード面では、美里町内の旧国鉄（旧宮原駅）を観光施設化して観光土産館に。地元関係者からも、「グッドアイデア」の賛賞が寄せられました。

清風南海はリモート参加でしたが、2025年7月に美里町を訪れたそうです。

「非鉄道専門家による成長の軌跡」（堀坊主さん）

全校の職員室には、ゲストの鉄道解説YouTuber・堀坊主さんが「鉄道まちづくりの方向性」のタイトルで講演。本業はカナダで自営会社を営む堀坊主さん。2020年のコロナ禍をきっかけに始めた地鉄解説チャンネルが好評です。



鉄道のまちを語る高校生にユースも送る特別ゲストの堀坊主さん。(撮影:筆者)

講演ではコロナ禍後の鉄道について、「リモートワーク普及と一方で、インバウンド需要という違いもあり、外적으로는自然災害の影響を大きく受けている」と変化を要約。

そのうえで鉄道会社が考える鉄道の未来について、「欧米日本の高級観光リゾート開発や金融ビジネス進出に象徴されるように、非鉄道系事業に成長の軸足を置くようになった」と結論を展望しました。

次回は「鉄道SUMMERカンファレンス」に

交流会ラストには、サプライズの発表も。地鉄交流会は14回目を迎えていったんピリオドを打ちます。

2026年の次回からは主催者の一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会はそのままだ、「鉄道SUMMERカンファレンス」に名称変更。調査研究にも軸足を置きながら、新しい歴史を積み重ねます。

地方鉄道や沿線と、鉄道を愛する高校生との絆が強くなってきた地鉄交流会。新展開に期待したいと思います。



写真部門でJR東日本小牛田駅センター所属賞を受賞した地元・志津学園高校の仲井隆希さんの「美里（九十九町）の地蔵川」(写真:全国高校生地方鉄道交流会)



線路、道路の二刀流に鉄研講師も興味津々から陸行車のデモンストレーション。(写真:全国高校生地方鉄道交流会)

記事：上里夏生

■美里町ホームページ 12月23日



■大崎タイムス 12月24日



■交通新聞社 12月26日

全国高校生地方鉄道交流会 成城中学・高校の生徒デザインのヘッドマーク宮城県美里町に授与

2025.12.26 その他業種分類 式典・表彰

阿武隈急行に掲出

今年8月に宮城県美里町で開催された「第14回全国高校生地方鉄道交流会 in 宮城県美里町」(同交流会主催、交通新聞社など後援)で、企画部門最優秀賞の美里町長賞を受賞した成城中学校・成城高等学校鉄道研究部(東京都)の生徒がデザインしたヘッドマークが18日から、阿武隈急行AB900系



■鉄道チャンネル 2026年1月5日

旅とあかけ 鉄道チャンネル 最新記事 おでかけ情報 観光特集 コラム 番組情報 視聴方法 お知

ニュース
僕らが描いたヘッドマーク電車が阿武急を行く！ 地鉄交流会で美里町長賞の成城中生がデザイン

2026.01.05 12:01



阿武急AB900系に掲出されたオリジナルヘッドマーク (写真：全国高校生地方鉄道交流会)

宮城、福島県境をまたぐ第三セクターの阿武隈急行(阿武急)に、美しい星空や地名から連想される牛をデザインしたオリジナルヘッドマークを付けた電車が運行を始めた。

ヘッドマークをデザインしたのは、東京都新宿区の成城中学校鉄道研究部の生徒たち。同校は2025年8月に東北線、石巻線、陸羽東線(奥の細道湯けむりライン)のJR3線が接続する宮城県美里町で開かれた、「全国高校生地方鉄道交流会(地鉄交流会)in宮城県美里町」の企画部門で、最優秀賞の美里町長賞を受賞。副賞としてヘッドマークのデザイン権が贈られた。

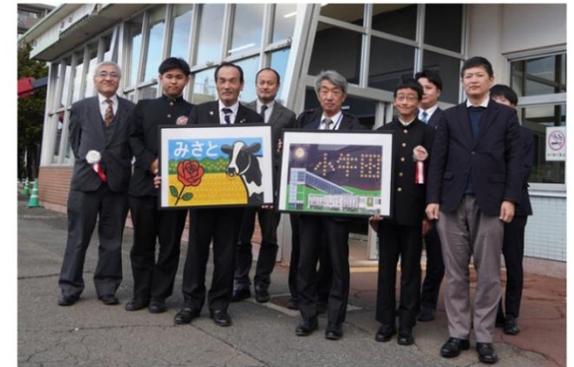
2点のヘッドマークのうち、「小牛田駅と星座小牛田」をデザインしたのは亀石悠太さん。夜空の星で「小牛田」の絵文字を描き、ガラス張りの小牛田駅自由通路やE721系電車、キハ110系気動車といった小牛田を走るJR東日本の車両をあしらった。

もう一点の「美里町の風景と特産品」は前田祐作さんの力作。青い空と町内に広がる田園風景、そして駅名から連想される「牛」を描いた。

ヘッドマークは2025年12月18日～2026年1月18日の約1ヵ月間、同じ宮城県に路線を持つ阿武急の新鋭・AB900系電車1編成に掲出される。

JR小牛田駅総合案内所で開かれたセレモニーでは、地鉄交流会を主催する一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会の大溝貴之代表理事と美里町の相澤清一町長、成城中高鉄道研究部の西山陽希部長らが出席。それぞれ「鉄道のまち・美里」への思いを述べた。

関連の催しとして、JR小牛田駅では交流会参加校が撮影した写真展も開催されている。こちらは2025年12月28日まで。



小牛田駅をバックにヘッドマークを披露するセレモニー出席者(写真：全国高校生地方鉄道交流会)

記事：上里夏生



第13回 三重県伊賀市× 伊賀鉄道 伊賀線（伊賀上野—伊賀神戸）

- 開催期間： 2024年8月16日（金）～18日（日）
- 会場： 三重県伊賀市
- テーマ： 選ばれる観光地"伊賀"～近鉄・JRと連携した誘客～
- 参加校： 英心高等学校 桔梗が丘校、芝学園芝中学校芝高等学校、福島工業高等専門学校、清風南海中学校・高等学校、英心高等学校、京華中学・高等学校、成城中学校・高等学校、浪速高等学校・浪速中学校、奈良育英高等学校、清風中学校・高等学校、開智日本橋学園中学・高等学校、東北学院中学校・高等学校
全12校（内オンライン3校） / 参加人数93名
- 後援： 国土交通省、文部科学省、三重県、三重教育委員会、伊賀市、伊賀市教育委員会、一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人東京私立中学高等学校協会、NHK津送局、三重テレビ放送株式会社、毎日新聞中部本社、日刊工業新聞社

2024年8月16日(金) 上野市車庫見学・伊賀上野城見学

■上野市車庫見学【行程】

- ◎洗車体験
- ◎車両内見学
- ◎車庫内見学



レールスクーター乗車体験



車掌体験



ポイント切替体験



■伊賀上野城見学

案内：いがうえの語り部の会



2024年8月17日(土) グループセッション～調査研究

■グループセッション

伊賀鉄道 車両部門・運輸部門・企画部門／西日本旅客鉄道(株)／伊賀市



■伊賀市 企画振興部 交通戦略課

鉄道ネットワーク係長森地孝充氏
講話：伊賀市の地域公共交通と伊賀鉄道



■じゃんけん大会／スペシャルプレゼント



※伊賀鉄道 鉄道部品
・40年物の電車線
・吊り革

※JR西日本 近畿統括本部
阪奈支社 地域共生室
・神戸～大阪 鉄道開業150周年記念 特製モバイルバッテリー

2024年8月18日(日) プレゼン発表～講演

伊賀線活性化協議会
中井茂平 会長 ご挨拶



伊賀鉄道株式会社
福島博 代表取締役社長 ご挨拶



■ 審査員

- ・審査委員長 伊賀鉄道株式会社 代表取締役社長 福島博氏
- ・伊賀鉄道株式会社 代表取締役常務 鉄道営業部長 増田政俊氏
- ・伊賀市長 岡本栄氏
- ・伊賀線活性化協議会 会長 中井茂平氏
- ・西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 阪奈支社 地域共生室長 福山和紀氏
- ・伊賀市教育委員会 事務局長 川部千佳氏
- ・北海道大学 名誉教授 石井吉春氏
- ・東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹氏
- ・映像プロデューサー 千葉行利氏 (動画部門のみ)

岡本栄 伊賀市長 ご挨拶



■ 近畿日本鉄道 株式会社 企画統括部
営業企画部 村上慶晃氏
講演：私の携わった鉄道の仕事



■ JR西日本 近畿統括本部 阪奈支社 地域共生室 室長 福山和紀氏
講演：駅からはじまる地域づくり

■ プレゼン風景



企画部門 表彰 ①

■ 伊賀鉄道株式会社 社長賞／浪速高等学校・浪速中学校 ※ヘッドマーク制作権



選ばれる観光地“伊賀” ～近鉄・JRと連携した誘客

-地域創生と鉄道の役割-



浪速高等学校・浪速中学校 鉄道研究部



選ばれる観光地“伊賀” ～近鉄・JRと連携した誘客

-地域創生と鉄道の役割-



浪速高等学校・浪速中学校 鉄道研究部



企画部門 表彰 ②

■ 伊賀線活性化協議会 会長賞 / 芝東北学院中学校・高等学校 ※副賞：伊賀の特産品 IGAMONO 伊賀牛



伊賀鉄道線活性化案

東北学院中学校・高等学校
鉄道研究部



■ 伊賀市長賞 / 成城中学校・高等学校 ※副賞：伊賀の特産品 IGAMONO 伊賀牛

成城中学・高等学校 鉄道研究部

伊賀鉄道活性化案

Iga Railway Revitalization Plans



■ 西日本旅客鉄道株式会社 阪奈支社 地域共生室長賞 / 清風中学校・高等学校 ※副賞：大阪～神戸鉄道開業150周年記念ノベルティ



写真部門 表彰 ①

- 伊賀鉄道株式会社 社長賞 「阿武隈急行線沿線に広がる田園風景と山々」
浪速高等学校・浪速中学校 高校1年 浜田 千加 ※副賞：伊賀鉄道 車内吊り・駅貼りにて掲出



第13回 全国高校生地方鉄道交流会

「写真部門」
受賞作品発表!

伊賀鉄道株式会社 社長賞

タイトル
夏の音
浪速高等学校・浪速中学校

主催：一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会
協賛：全国高校生地方鉄道協会
協力：伊賀鉄道株式会社
後援：浪速高等学校、浪速中学校、三義塾、三義塾教育委員会、伊賀北、伊賀南教育委員会、
一般社団法人 東京私立中学志望者学校協会、一般社団法人 日本琵琶経済連合会、NHK東海放送
日刊工業新聞社、春日新聞中学校社、三重テレビ放送株式会社

掲載写真
一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会 事務局
〒510-0801 三重県四日市市 8-604-1022
TEL: 059-452-1186 www.nshftr.com FAX: 059-2-1145
e-mail: info@shtrnews.org

公式ホームページ
http://shtrnews.com

伊賀活性化協議会 伊賀鉄道株式会社 伊賀市

- 伊賀線活性化協議会 会長賞
「忍者は姿を現す」
奈良育英中学校・高等学校 高校1年 福田蒼士
※副賞：伊賀の特産品 IGAMONO 伊賀牛



- 伊賀市長賞 「忍者はいつでも君を見ている」
成城中学校・成城高等学校 中学3年 松下結仁
※副賞：伊賀の特産品 IGAMONO 伊賀牛



- 西日本旅客鉄道株式会社 阪奈支社 地域共生室長賞
「夏と秋のコラボ」 成城中学校・成城高等学校
中学2年 勝見颯斗
※副賞：大阪～神戸鉄道開業150周年記念ノベルティ



写真部門／動画部門 表彰 ②

■佳作



「夏、晴れ、いがてつ。」
清風南海中学校・高等学校
高校1年 市谷直澄



「自然と電車を一緒に！」
成城中学校・成城高等学校
中学3年 山田 空



「伊賀上野城を眺めて」
成城中学校・成城高等学校
中学2年 山口瑛祐



「歴史の中を走り抜ける」
東北学院中学校・高等学校
高校2年 石川篤志



「待機」
成城中学校・成城高等学校
中学1年 金子聖史



「田んぼを走る列車」
成城中学校・成城高等学校
中学1年 漆原陵太

【動画部門】

- 伊賀鉄道株式会社 社長賞 「終車__忍びの夜」
東北学院中学校・高等学校
- ※副賞：Amazonギフトカード



2024年10月20日 企画部門 ヘッドマーク装着式

■伊賀鉄道 伊賀線 上野市駅 ホームにて



大溝代表理事
挨拶



伊賀鉄道株式会社
福鳥博 代表取締役社長
ご挨拶



速高等学校・浪速中学校
鉄道研究部 奥邨エビスさん
受賞のお言葉

■ヘッドマーク授与

伊賀鉄道株式会社 社長賞 受賞校
浪速高等学校・浪速中学校 鉄道研究部 代表 奥邨エビスさんから
伊賀鉄道株式会社 福鳥社長に ヘッドマークが手渡されました。

■ヘッドマーク装着



鉄道チャンネル 2024.10.27

鉄道チャンネル ニュース おでかけ情報 コラム 番組情報 視聴方法 お知らせ

僕らがデザインしたヘッドマーク電車が伊賀鉄を走る！ 地鉄交流会で社長賞の浪速高校中学鉄研（三重県伊賀市）



浪速高校の浪速中学校の生徒らがヘッドマークをデザインした伊賀鉄を走る。浪速高校伊賀市上野丸之内

三重県西部を走る伊賀鉄道（伊賀鉄）に、快定する電車や名車・伊賀上野城、手裏剣、突る稲穂をモチーフにしたヘッドマークを付けた電車を運転を始めた。

ヘッドマークをデザインしたのは、大原市住吉区の浪速高校中学鉄道研究部の生徒たち。同校は、2024年8月に伊賀鉄で開かれた、「全国高校生地方鉄道交流会（地鉄交流会）」の企画部門で、最優秀の伊賀鉄社長賞を受賞。副賞としてヘッドマークのデザイン権が贈られた。

ヘッドマークの題意・装着式は2024年10月20日に伊賀上野城で開催。式では、（一般社団法人）全国高校生地方鉄道交流会の大湊賢之代表理事と、伊賀鉄の稲葉博社長があいさつ。稲葉社長は、忍者の里を走る鉄道らしく伊賀忍者の装束で登場した。

次いで、主役代表として奥村エビス（おくむら・えびす）さんがあいさつ。「伊賀鉄が走る伊賀の地は、稲穂の国と呼ぶにふさわしい田園風景が広がる。私たちは、伊賀の地を走る鉄道をイメージしながらヘッドマークを制作した」と述べた。

ヘッドマークを装着するのは20系電車で1編成（2両）。伊賀鉄は忍者のラッピング車が多いが、ヘッドマーク電車は譲受前の東急1000系の強国を残す。

ヘッドマーク電車の運行は2024年末まで。同じ中乗り広告枠は、地鉄交流会の写真部門で入賞した中高生の作品が提出されている。



浪速高校の企画部門にあがったヘッドマーク

写真：上原聖生
写真提供：全国高校生地方鉄道交流会

朝日新聞 2024.10.27

朝日新聞 DIGITAL 鳥取県 米大越線 速報 時評 夕刊 速報

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸術

朝日新聞デジタル > 記事

高校生がデザインしたヘッドマーク 伊賀鉄道で走行

小西季司 2024年10月27日 10時00分

高校生がデザインした列車のヘッドマークの装着式が20日、三重県伊賀市上野丸之内の伊賀鉄道上野市駅であった。同市で8月にあった第13回全国高校生地方鉄道交流会で誘客アイデアの最優秀賞に選ばれた浪速高校・浪速中学（大阪市）の鉄道研究部がマークを考えた。

県内や東京、大阪、福島、宮城、奈良から約100人が参加した交流会で、同校・同中は「NARUTO」のラッピング列車や沿線にある木津川の桜並木整備などのアイデアを披露。その副賞としてヘッドマークのデザイン権が贈られた。

デザインは、稲穂の背景に伊賀上野城や列車、手裏剣をあしらったもの。代表の高校2年、奥村（おくむら）エビスさん（16）は「恥ずかしいけど、うれしい」と喜んだ。マークは直径40センチ。正面ガラスに貼られ、年内いっぱい走る予定という。（小西季司）



浪速高校・浪速中学校鉄道研究会の部員らとヘッドマーク。三重県伊賀市上野丸之内



浪速高校・浪速中学校鉄道研究会の部員らと伊賀鉄の列車。伊賀鉄社長・三浦伊賀市上野丸之内

伊和新聞 2024.10.28

伊和新聞 伊賀と大和をむすぶ生活情報誌「いわネット」

Topics
トピックス

伊賀鉄道に新しいヘッドマーク

© 2024.10.28

浪速高校・中学鉄道研究部がデザイン

全国高校生地方鉄道交流会（代表理事・大湊賢之氏）は今年8月、「遊ばれる観光地「伊賀～近鉄・JR」と連携した誘客」をテーマに、第13回全国高校生地方鉄道交流会を行いオンラインを含め12校が参加した。その中で、私立浪速高等学校・浪速中学校鉄道研究部の研究成果が、企画部門の最優秀賞である伊賀鉄道株式会社社長賞を受賞。同時に副賞として伊賀鉄道車両のヘッドマークデザイン権が授与された。

それに応じて同高校と中学の鉄道研究部は全員で研究し、受賞に至った企画で評判の良かった写真なども勘案し、イメージを練りデザインを完成させた。そして10月20日、完成したヘッドマークを列車に取り付ける装着式となった。

鉄道研究部の生徒を代表し、2年生の奥村エビスさん（16）は「伊賀鉄道が走る伊賀の地は、まさに稲穂の国というに相応しい素晴らしい田園風景が広がっています。今回のデザインは、稲穂が突る田園風景に伊賀のシンボルとも言える伊賀上野城と手裏剣、そして伊賀鉄道をアレンジして制作しました」とデザインに込めた思いを話した。全国高校生地方鉄道交流会代表理事の大湊賢之さんは「鉄道好きが、ヘッドマークをデザインするのは嬉しいこと。しかもそれがダイヤの中で走ってくれるなんて、鉄道好きにはたまらない。これも交流会の時、企画を作ってはやり直しを、みんなで熱度も繰り返して最優秀賞になったからこそ。これは自慢していい」と祝いの言葉を述べ、伊賀鉄道の稲葉博社長は「皆さんの若さや元気をもらって、これからも伊賀鉄道は、元気に走っていきなさい」と生徒たちに激励を述べた。

出席した鉄道研究部員の4人（高校3年生1人、2年生2人、中学3年生1人）は、協力ヘッドマークを赤帯ラインのオリジナルカラー車の手前に取り付けた。すっきりとして端正で、この車両によく似合っていた。ヘッドマークのデザイン優秀賞と言われている、選色のない優れたデザインだ。鉄道マニア4人の囁れがましい表情が素敵だった。

伊和新聞 伊賀と大和をむすぶ生活情報誌「いわネット」

Topics
トピックス

伊賀鉄道に新しいヘッドマーク

© 2024.10.28





第12回 福島県伊達市× 阿武隈急行線（福島一槻木）

- 開催期間： 2023年8月18日（金）～20日（日）
- 会場： 福島県伊達市
- テーマ： 阿武隈急行を利用した、地元商店街活性化とは
- 参加校： 目黒学院中学・高等学校、東北学院中学校・高等学校、郁文館高等学校、東京農業大学第二高等学校、福島工業高等専門学校、高松中央高校、昭和学院中学高等学校、成城中学校・高等学校、清風南海中学校・高等学校、渋谷教育学園幕張中学校・高等学校、芝学園芝中学校芝高等学校
全11校（内オンライン3校） / 参加人数110名（引率15名/生徒95名うち、リモート9名）
- 後援： 国土交通省、文部科学省、福島県、福島県教育委員会、伊達市、伊達市教育委員会、一般社団法人日本民営鉄道協会、読売新聞東京本社福島支局、福島民報社、福島民友新聞社、福島県私立中学高等学校協会、東京私立中学高等学校協会

2023年8月18日(金) ホスト校 伊達高等学校 交流

■ 交流内容

- ①新聞部 プレゼン
- ②生徒会 桃の食べ比べ

伊達高校玄関と駐輪場には歓迎の看板



大溝代表理事 挨拶



伊達高校 高橋文彦校長 ご挨拶



生徒会・新聞部による 伊達高校のプレゼン



伊達高校生と
質疑応答による交流



桃の食べ比べ



2023年8月18日(金) 車両基地 見学



モーター見学

■ 行程

グループ毎に分かれて見学

- ◎ 運転台見学
- ◎ 車掌体験・ドア操作見学
- ◎ 車内見学
- ◎ 車内通報装置見学
- ◎ 車両整備の解説・見学及びモーター見学

- ◎ 廃品見学
- ◎ レールスクーター乗車体験・モーターカー見学

- ◎ 廃品じゃんけん大会



レールスクーター乗車体験



須田博行伊達市長 ご挨拶



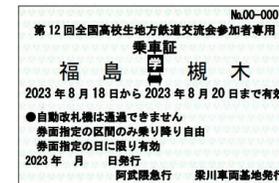
新旧車両比較見学
(8100系とAB900系車両)
車掌体験・ドア操作体験
(乗務員室の車内放送や
ドア操作の体験)
車内通報装置の体験



廃品(鉄道部品・過去のヘッドマークなど)
見学



運転台見学(運転台の機器類の説明)



■ 参加者全員にプレゼント
3日間の専用乗車券を
ご用紙してくださいました!

2023年8月19日(土) グループセッション～調査研究

■阿武隈急行 グループセッション

駅員のお話、運転部の方々のお話、農家兼業のお話、企画営業のお話等 どれも貴重なお話でした



講話【鉄道と自治体と商店街との取組】
伊達市未来政策部保原総合支所 東城一弘氏

■路面電車を偲ぶ会（代表 安齋武氏） 絵本を各校に1冊ずつプレゼント

伊達市と福島を結んだ路面電車【路面電車を偲ぶ会】特別内覧

東城氏による街歩き（商店街視察）



■沿線調査

専用乗車券を使いホームから撮影



2023年8月20日(日) プレゼン発表～講演

■ 保原中央交流館にて

伊達市 佐藤弘一副市長 ご挨拶



阿武隈急行株式会社
富田政則代表取締役社長 ご挨拶



■ 審査員

- ・審査委員長 阿武隈急行株式会社 代表取締役社長 富田政則氏
- ・伊達副市長 佐藤弘一氏
- ・株式会社東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹氏
- ・映像プロデューサー 茂野隆之氏
- ・一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大溝貫之



■ 西園寺【鉄道系ユーチューバー】特別講演

関西在住の大学生。

1年生の夏に日本一長い片道切符「最長片道切符」を用いた日本一周旅行を敢行。

半年後に2度目の日本一周旅行に出かけ、春休みの実家滞在時間は"8 時間"。

長旅を通じて日本の風景の美しさ、また正確かつ安全に人を輸送する公共交通機関の凄さを痛感し、本格的に動画を YouTube にアップするようになる。

事前予約来場者：58名、ライブ配信視聴者:86名
アーカイブ再生回数：2,117回

■ プレゼン風景



企画部門 表彰

■ 阿武隈急行株式会社 社長賞 / 成城中学校・高等学校 ※ヘッドマーク制作権

第12回全国高校生地方鉄道交流会
企画部門

**阿武隈急行株式会社
社長賞**

阿武隈急行線活性化案

成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部




■ 伊達市長賞 / 芝学園 芝中学校・芝高等学校 ※副賞：桃の恵み1ケース

第12回全国高校生地方鉄道交流会
企画部門

伊達市長賞



芝学園
交通研究部

阿武隈急行線活性化案
2023/8/20(Sun.)



副賞



■ 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事賞 / 福島工業高等専門学校 ※副賞：開催ポスター

第12回全国高校生地方鉄道交流会
企画部門

全国高校生地方鉄道交流会
代表理事賞

**阿武隈急行線の現状に基づく
沿線地域の活性化の提案**

福島工業高等専門学校 鉄道愛好会





写真部門 表彰 ②

■ 佳作



「Another world」
東北学院 中学校・高等学校 高校2年 石垣 誠



「青い橋」
芝学園 芝中学校・高等学校 中学1年 高橋 陸



「田んぼの月」
成城中学校・成城高等学校
中学2年 阿保奏汰



「あぶきゅうの華」
成城中学校・成城高等学校
中学2年 村橋 純



「羽出庭の山越え」
渋谷教育学園 幕張中学校・高等学校
中学3年 宇根賢汰



「静かな秘境駅」
目黒学院中学校・高等学校
菊池泰史



2023年11月19日 企画部門 ヘッドマーク装着式 ①

■阿武隈急行 梁川駅 ホームにて

【政宗ブルーライナー】ラストランに乗車し、
 企画部門 受賞校 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部
 写真部門 阿武隈急行株式会社 社長賞 受賞者
 梁川駅に到着



須田博行 伊達市長のご挨拶



阿武隈急行株式会社
 富田政則 代表取締役社長のご挨拶

■写真部門 阿武隈急行株式会社 社長賞 表彰 タイトル：阿武隈急行線沿線に広がる田園風景と山々 成城中学校・成城高等学校 松村優貴さん



賞状入録 阿武隈急行株式会社 今村 駅長



2023年11月19日 企画部門 ヘッドマーク出発式 ②

■ヘッドマーク授与



阿武隈急行株式会社 社長賞 受賞校 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部さんから
阿武隈急行 富田社長にヘッドマークが手渡されました。

梁川駅13：26分発福島行より運行開始

ヘッドマーク装着



■ 募集案内



■ 開催案内



■ 集合写真



■ 公式よりプレスリリース 2023年7月26日(水)掲載



8月18日（金）～20日（日）に、伊達市を会場として開催された「第12回全国高校生地方鉄道交流会」の企画部門で、本校鉄道愛好会が「全国高校生地方鉄道交流会代表理事賞」を受賞しました。
この交流会は、全国の鉄道愛する中学高校生が鉄道を軸とした地域活性化案を提案するもので、12回目となる今回は福島県から宮城県にかけて運行されている阿武隈急行線をターゲットとして全国から集まった11校の約110名でアイデアを競いました。本校からは初めての参加となりました。

18日は阿武隈急行梁川車両基地において、阿武隈急行線の現状についての説明や伊達市の特産品などの説明を受けました。また、実際に運行される車両の運転席の着席体験、車掌業務（ドアの開閉）体験、レールバイク乗車体験などのほか、車両整備についての説明を受けました。イベントが始まるまでの空いた時間に梁川駅周辺地域を散策し、駅から梁華街までの距離感やバス・タクシーなどの運行状況、商店街の様子などを調査して、活性化案に活かせる情報を収集しました。

20日には会場を伊達市保原市民センターに移し、今回のテーマである「阿武隈急行を利用した、地元商店街活性化とは」について、参加校が企画案をプレゼンテーションしました。本校からは鉄道愛好会のビジネスコミュニケーション学科4年 熊谷優汰さんが発表しました。

本校の企画案は、鉄道に加えてバスやタクシーでも利用でき、さらには沿線の商店や宿泊施設などでも使用できる「回遊券」を発表するというものでした。発表の中では、高齢者の利用し易さや読み取りシステムの導入が必要であること、チケットの購入時に割引の恩恵を受けられることなどのメリットを伝えました。

表彰式では、代表理事の大瀧眞之先生から「大変よく練られた企画案でした。地元福島に対する愛が感じられた素晴らしい発表でした。」との讃評をいただきました。

- ・全国高校生地方鉄道交流会公式サイト: <https://chitetsukoryu.org/>
- ・全国高校生地方鉄道交流会公式Facebook: https://www.facebook.com/chitetsukoryu/?ref=embed_page
- ・交流会の様子 (KfB福島放送): <https://www.kfb.com.jp/news/fukushima/index.php?id=202308237702>
- ※動画1分29秒～熊谷さんのインタビュー

■ 参加賞 缶バッジ×2種



伊達市
オリジナル猪皮キーホルダー



阿武隈急行 つり革



一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会

プレスリリース

2023年11月14日 11時

【第12回 全国高校生地方鉄道交流会 in 伊達市】最優秀賞、副賞ヘッドマーク装着式のご案内

教育

企画部門の最高賞となる阿武隈急行社長賞には、福島交通飯坂線と連携した周遊券の発売や車両の窓を開放する「トロッコ列車」の運行などを提案した成城中学校・成城高等学校鉄道研究部（東京都新宿区）が選ばれ、副賞として阿武隈急行線車両のヘッドマークデザイン権を授与されました。

■公式よりプレスリリース 2023年11月14日(火)掲載

[dmenu ニュース](#)

福島民報 + フォローする

阿武隈急行が中高生デザインのヘッドマークを取り付け 福島県梁川町の梁川駅で装着式

福島民報社によるストーリー・1通



ヘッドマーク装着に立ち会う秋山部長（左）と松村さん（右）

第12回全国高校生地方鉄道交流会の企画部門最高賞に輝いた成城中・高鉄道研究部（東京都）がデザインした阿武隈急行のヘッドマーク装着式は19日、伊達市梁川町の阿武隈急行梁川駅で行われた。

今年8月に伊達市で開かれた交流会で、同研究部は最優秀賞の阿武隈急行社長賞を受け、ヘッドマークのデザイン権を得た。伊達の桃畑や田園を走る電車、宮城県角田市のロケット模型などを描いた2種類をデザインした。

式には阿武隈急行の富田政則社長、須田博行市長らが出席。研究部の秋山瀧太郎長（成城高2年）と松村優貴さん（向中2年）が富田社長にヘッドマークを手渡した。秋山部長は「広大な自然に溶け込む車両を描いたヘッドマークを、ぜひ見てほしい」と述べた。秋山部長らがヘッドマークの取り付け作業を見守った。

装着した車両は2カ月間、運行される。交流会の写真部門入賞作品も全車両に展示されている。

■福島民報社 2023年11月19日(日)掲載

阿武隈急行に「ヘッドマーク」装着 東京・成城中高生デザイン

11/26(日) 11:15 配信 5 5 5 5 5

福島民友



装着式に臨む秋山部長（右から3人目）と松村さん（向4人目）

伊達市で8月に開かれた「第12回全国高校生地方鉄道交流会in伊達市」で、企画部門最高賞の阿武隈急行社長賞に輝いた成城中・高鉄道研究部（東京都）がデザインしたヘッドマークの装着式が19日、同市の梁川駅で行われた。

同部は、福島交通飯坂線と連携した周遊券の発売や車両の窓を開放する「トロッコ列車」の運行などを提案して社長賞を受賞、副賞として車両の先頭部に装着するヘッドマークのデザイン権が贈られた。ヘッドマークは、車両と田園風景を描いたものと、沿線の伊達市の桃と宮城県角田市の角田宇宙センターにちなんだデザインの2種類。

式には阿武隈急行の富田政則社長と須田博行市長らが出席。同部の秋山瀧太郎長（成城高2年）と松村優貴さん（成城中2年）が富田社長らにヘッドマークを手渡した。秋山部長は「都市部の鉄道にはない田園風景、そしてロケットのように飛翔（ひしよう）し発展することを願いデザインした。ヘッドマークをぜひとも見に来てほしい」とあいさつした。

ヘッドマークを装着した車両は約2カ月間運行される。同交流会の写真部門入賞作品も全車両で展示されている。

福島民友新聞

■福島民友社 2023年11月26日(日)Yahooニュースにて掲載



動画



写真

[dメニュー](#) > [ニュース](#) > [トレンド](#) > [鉄道](#) > [記事詳細](#)

阿武隈急行 全国高校生地方鉄道交流会ヘッドマーク列車 運転

鉄道コム 11/16(木) 19:49

阿武隈急行は、「第12回全国高校生地方鉄道交流会in伊達市」企画部門最優秀賞の副賞として、オリジナルヘッドマーク掲出列車を運転。AB900系1号車を対象に、成城中学校・成城高等学校鉄道部の生徒がデザインしたヘッドマークを掲出。ヘッドマーク装着式を実施後、運転を開始。装着式の開催日は、2023年11月19日（日）。同日以降、2か月間運転。 ■dmenuニュース 鉄道コムより 2023年11月16日(木)掲載



阿武隈急行 全国高校生地方鉄道交流会ヘッドマーク列車 運転



2nd-train 鉄道写真ニュースサイト
@2nd_train_plus

【鉄道イベント情報】【阿武急】「第12回全国高校生地方鉄道交流会最優秀校デザインヘッドマーク」を取り付け開始を追加しました。



午後9:42・2023年11月17日・1,719 件の表示

■Twitter 鉄道情報アカウントにてヘッドマーク授与式の情報が発展

フォローアップ企画

Check! フォローアップ 全国高校生地方鉄道 交流会@伊達市

全国高校生地方鉄道交流会



2023年8月18日(金)から20日(日)にかけて、伊達市で「第12回全国高校生地方鉄道交流会」が開催されました。

全国高校生地方鉄道交流会は、高校生が沿線地域に学び、交流をはかりながら、対象路線を基軸とする地域活性化案をたて、企画として発表するイベントです。今回のテーマは「阿武隈急行を利用した、地元商店街活性化とは」。全国11校の高校生が伊達市に集い、阿武隈急行線沿線を舞台に調査、企画、発表力を競い合いました。

参加した高校生はどんな様子で、発表ではどんなアイデアが飛び出したのか? 支援センターは、主催団体の代表をお招きして、地元・伊達市の私たちと一緒に、今般のイベントの“振り返り”をしていただくことにしました。交流会からヒントを得て、後に事業化された例も全国に数多くあるそうです。楽しいお話が聞けそうですね。

【日時】令和5(2023)年10月25日(水)午後2:00~

【場所】保原中央交流館大会議室(3階)伊達市保原町字宮下111-4

【講師】一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大満 貴之 氏



参加無料。お申込みをお願いします。
お問い合わせは伊達市市民活動支援センターまで。024-563-6970

■地方鉄道交流会フォローアップイベント アンケート結果集約

【今回イベントへの意見・感想】

○高校生の提案に関して

- ・高校生やいろいろの方の意見が聞けて、大変勉強になった
- ・高校生のアイデアや活動が頼もしく思えた
- ・今回の企画により、高校生の提案企画がより現実的なものになっていくことを期待する
- ・高校生のアイデアを、鉄道会社・住民・行政が連携して、うまく実現に向け取り組むことが重要
- ・高校生がやってみたく提案したことを、期間限定でも試しにやってみたらよい。うまくいく・いかないは別として

○地方鉄道と地域活性化に関して

- ・阿武隈急行線を深く考えることができた
- ・鉄道についてもあぶきゅうについても知らないことが多く、非常に勉強になった
- ・自分のまちのことを考えるよい機会になった
- ・地方鉄道(あぶきゅう)だけでもたくさんのアイデアが出ることに驚いた
- ・普段話を聞く機会のない方たちと意見交換できてよかった
- ・地方鉄道の経営が厳しい状況の中、今後ますます人口減少が進み、利用者減が予想される。通勤通学の需要だけでは存続が難しいと考えられ、地域活性化と結びつけて考えていくことは大切であり、とても有意義なイベントと思う
- ・こうした講演・討論会に参加して皆さんと久しぶりに会えて、コロナ明けまで生きてよかったと思った。改めてステキな地域になるよう、皆さんと考える、協力しあっていきたい

○ワンモア提案

- ・高校生の提案をもっと詳しく聞きたかった
- ・参加者の幅をひろげてほしい。中高生も参加できるように考えて
- ・あぶきゅう駅周辺の企業などもっと参加したほうが良い
- ・本当は第2部のグループ座談会こそ多数参加してもらえると良かった

【今回のイベントの今後の展開】

○賛同・応援意見

- ・出た考えを生かして行ってほしい
- ・提案されたアイデアから試験的に実施できそうなものを「やってみる」につなげてほしい
- ・実現可能なものから、失敗を恐れずどんどん取り入れてほしい

○継続発展形提案

- ・定期的な開催を県全体で考えてほしい
- ・高校の課題解決型授業との連携
- ・高校生の企画を土台に、様々な関係者によるワークショップの実施
- ・あぶきゅうと商工会等との企画提案・情報交換
- ・保原駅の利活用(賑わい創出イベントの実施など)と鉄道を中心としたまちづくり
- ・鉄道を活力とした地域活性化や住民のマイレール意識の向上をめざす

○ワンモア提案

- ・いろいろアイデアはあるが、それを実現するにはやはりお金もかかるので、そこが課題。少しでも活性化でき、あぶきゅうを残していけるよう応援したい
- ・伊達市に来る目的が何か重点を置くほうがいい。移動手段としての電車は、それに乗ること自体が駅に来る目的にはなりえなさそう
- ・商工会が伊達市に2つあるのはどうか。活動が分散してしまう

YouTube JP

検索



伊達市ケーブルテレビ「フォローアップ企画 全国高校生地方鉄道交流会in伊達市」





第11回 大阪府岬町× 南海電気鉄道 多奈川線（みさき公園—多奈川）

- 開催期間： 2022年8月5日（金）～7日（日）
- 会場： 大阪府泉南郡岬町
- テーマ： 閑空利用者を多奈川線に誘客する方法
- 参加校： 岸和田高等学校、府立岬高等学校、三田学園高等学校、清風中学校・高等学校、芝学園芝中学校芝高等学校、目黒学院中学・高等学校、石川県立内灘高等学校、浪速高等学校・浪速中学校、修道中学校・修道高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、成城中学校・高等学校
全11校（内オンライン4校） / 参加人数91名
- 後援： 国土交通省、大阪府、大阪府教育委員会、岬町、岬町教育委員会、一般社団法人日本民営鉄道協会、NHK大阪放送局、読売新聞大阪本社、毎日新聞大阪本社、一般財団法人東京私立中学高等学校協会、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー、関西エアポート株式会社

2022年8月5日(金) 千代田工場 見学



■行程

1. (参加者全員対象)
「1000系の足(台車)抜き」[試運転の車両見学]

◎35tonクレーンを全員で見学
(1名operator室入室) **じゃんけんで1名を決定**

2. グループ毎に分かれて見学

- ◎各種整備作業見学 (台車周り、車輪整備、モーター整備 など)
- ◎検査車両紹介「ピット線で屋根上に登る
- ◎車両搭乗 (車内で小オリエンテーション)
- ◎車両の外回り解説
- ◎運転席周り
- ◎パンタグラフ (地上で操作体験)
- ◎車内放送体験
- ◎ドア開閉体験
- ◎信号機能紹介
- ◎ノッチ切り替え説明・体験
(VMC制御器 本物OCR検知体験 リレーあり)
- ◎レール探求の面白さ 調査方法指南特設講座 (瀬尾さん)
(順番待ち列の傍に、瀬尾さん特設ブース質問コーナー設置! 予定)

3. サプライズプレゼント (6kgレールのスライスあり) (100人分)
電車の警笛2つ (抽選で2校のみ)



60kgレールをスライスした、
オリジナルキーホルダー
千代田工場の皆様が
休憩時間などを利用して
お作りいただきました。



安田管理区長より、警笛のプレゼント



専門家も顔負けの質疑が飛び交う



■参加者全員にプレゼント

- ①クリアファイル4種類
(レポート、天空、サザン、めでたいでんしゃ)
- ②レポートマスク
- ③フリクションペン
- ④使い捨てスリッパ



■ 大阪府泉南郡岬町 副町長 松岡裕二氏



1968年京都府舞鶴市生まれ。
舞鶴工業高等専門学校土木工学科を卒業し、
民間会社に4年間勤務後
1994年 運輸省第三港湾建設局
(現：国土交通省)に入省。
神戸港・舞鶴港などの港湾整備の他、
CMのべた踏み坂で有名になった
鳥取県・島根県に跨ぐ『江島大橋』や
『関西国際空港第2期』の整備事業に従事。
2019年4月から現職。

■ 大阪府泉南郡岬町 地域おこし協力隊 根田淳弘氏



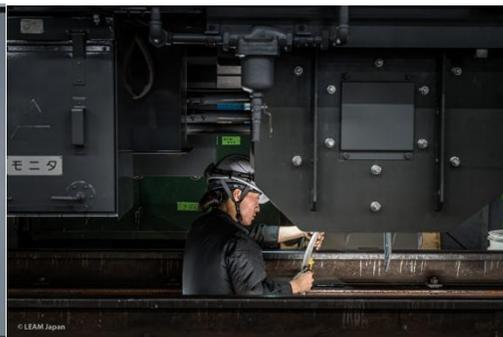
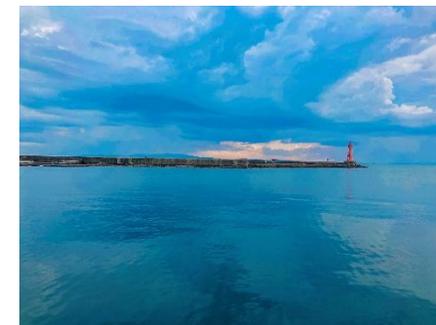
■ 株式会社LEAMJapan 代表取締役 アート・フォトグラファー 水野謙治氏 『美しい画像の撮り方』



1972年 愛媛県生まれ
2016年 写真と映像を手がけるイマジック合同会社 設立
2018年 松山市にコンテナハウススタジオを建築。
2021年 株式会社 LEAM Japan 代表取締役に就任

■ 受賞歴

2014年 ウェディングフォトアワード金賞
2017年 AsiaWPA 国際フォトコンペ 入賞 (日本人2人目)
2018年 WPPI 国際フォトコンペ 世界2位入賞
2020年 Cosmos Awards 国際フォトコンペ 世界1位入賞
2021年 Asia WPA 国際フォトコンペ 世界2位入賞
2021年 Cosmos Awards 国際フォトコンペ 世界2位入賞
2022年 WPE 欧州 国際フォトコンペ 世界3位入賞 他多数受賞歴あり



2022年8月6日(土) 調査研究

■ホスト校「岬高等学校」訪問 橋本教頭インタビュー



■岬町が用意してくれた「深日洲本ライナー」



■岬町コミュニティバス 8月6日は缶バッジ装着にて1日 無料乗車となった



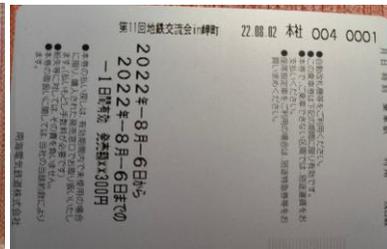
松岡副町長



■加太さかな線「めでたいでんしゃ（さち）」を 8/5から7日の正午まで特別に多奈川線にて走行してくれた



■調査・研究のために特別に用意してくれた「一日乗車券」



2022年8月7日(日) プレゼン発表～講演

■ 岬町 田代堯町長 ご挨拶



■ 審査員

- ・岬町 副町長 松岡裕二氏
- ・南海電気鉄道株式会社 まち共創本部 企画部 課長 大塚英生氏
- ・株式会社東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹氏
- ・株式会社LEAMJapan 代表取締役/アート・フォトグラファー 水野謙治氏
- ・関西エアポート株式会社 原菜々子氏
- ・一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大溝貫之



■ プレゼン風景



■ 南海電気鉄道株式会社鉄道 営業本部統括部課長 兼 施設部課長 窪田勇輝氏 / 講演：南海電鉄の‘なんかいい’ACTION



■ 講評 / 株式会社東洋経済新報社 大坂直樹氏



企画部門 表彰

■ 南海電気鉄道株式会社 社長賞 / 浪速高等学校・浪速中学校 ※ヘッドマーク制作権

関空利用者を 南海多奈川線に誘客する方法

-地域創生と鉄道の役割-



浪速高等学校・浪速中学校 鉄道研究部



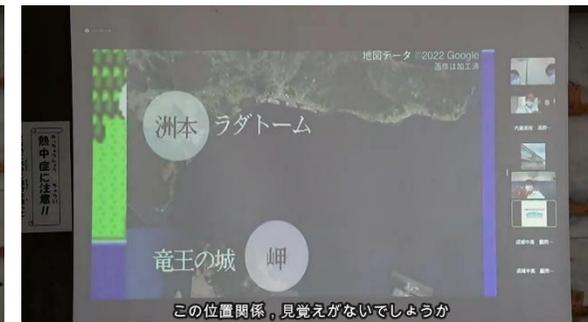
■ 岬町長賞 / 芝学園 芝中学校・芝高等学校 ※副賞：青木松風庵 菓子詰め合わせ

副賞*イメージ



■ 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事賞 / 成城中学校・高等学校 ※副賞：開催ポスター

2022年 全国高校生地方鉄道交流会
多奈川線 活性化案



写真部門 表彰 ①

- Leam Japan 社長賞「夏空」
三田学園中学校・高等学校 高校2年 齋藤弘青
※副賞：LuminarAI画像編集ソフト



- 南海電気鉄道株式会社 社長賞「待ちわびた瞬間」
大阪府立岬高等学校 高校3年 磯和兼伍
※副賞：南海多奈川線沿線にて掲出



写真部門 表彰 ②



- 岬町長賞 「早くさちに会い鯛」
目黒学院中学・高等学校 高校1年 菊池 泰史
※副賞：青木松風庵 菓子詰め合わせ



- 全国高校生地方鉄道交流会 代表理事賞 「曇れ日」
芝学園 芝中学・芝高等学校 中学3年 新保周永



2022年10月23日 企画部門 ヘッドマーク出発式 ①

■南海電鉄 多奈川線 多奈川駅 ホームにて



大溝代表理事
挨拶



田代堯岬町長
ご挨拶



速高等学校・浪速中学校
鉄道研究部 野田桜薫さん
受賞のお言葉



司会：浪速高等学校・浪速中学校
放送部 高木咲月さん

■ヘッドマーク（レプリカ）授与



南海電気鉄道株式会社 社長賞 受賞校
浪速高等学校・浪速中学校 鉄道研究部 代表 野田桜薫さんから
南海電気鉄道株式会社 和歌山・泉南管区 山本光和 管区長に
ヘッドマーク（レプリカ）が手渡されました。



2022年10月23日 企画部門 ヘッドマーク出発式 ②



■南海電鉄様をご準備くださいました 駅長用のジャケットと帽子を身に
着けて参加者全員で記念撮影！



■浪速高等学校・浪速中学校の皆さんがデザインされたヘッドマーク装着した
南海電鉄2200系車両 ヘッドマーク掲出列車が
ホームに入ってきました！

■山本管区長、安全確認・出発確認～大きく手を振ってお見送り！



■ 募集案内



■ 開催案内



■ 集合写真



■ RELEASE

・4月

PRESS RELEASE



2022年4月3日
一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会
代表理事 大瀧 貴之

大阪最南端の単線 南海電鉄多奈川線を高校生が創造する

【第11回 全国高校生地方鉄道交流会 in 岬町】

2022年8月5日(金)～7日(日)開催決定!!

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大瀧貴之は今年で第11回となる、全国高校生地方鉄道交流会(以下、地鉄交流会)を大阪府泉南郡岬町と南海電気鉄道株式会社の協力を得て、2022年8月5日(金)～7日(日)に開催する。

地鉄交流会は70年以上の歴史を持つ、私立成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部の教師が始めた、中学・高校生による、地方創生の企画提案や写真の技術を競うもの。

全国に高校生たちがもたいて、鉄道を軸とした地域の活性化策を提案する。提案が、実際の鉄道活性化策として実現した実績も多数。写真部門では、優秀作が各地のメディア媒体に採用されている。

これまで、秋田内陸縦貫鉄道、いすみ鉄道、一畑電車鉄道、三陸鉄道、のと鉄道、鹿島臨海鉄道、東京モノレール、JR北海道 花咲線、2020年はコロナ禍のため、リモートでの開催、昨年は富士急行で開催した。

今回は大阪府泉南郡岬町、南海電気鉄道株式会社の協力のもと多奈川線を舞台に開催する。

今年のテーマは「閑空利用者を多奈川線に誘客する方法」。地鉄交流会の通年を通じたテーマ「地域創生と鉄道の役割」をより深く掘り下げるかを中学生・高校生ならではの柔軟な視点で提案してもらいたい。

大阪府泉南郡岬町には他府県からも観光客が来るほどの人気の観光地であった「みさき公園」が、現在新たなみさき公園として整備計画中である。

多奈川線の始発駅でもある、みさき公園駅「みさき公園」の新たな活用案は是非盛り込んで欲しい。また、世界中が評価する、閑空利用客をどのように岬町まで誘致するかが大きなカギとなるだろう。

..... 第11回 全国高校生地方鉄道交流会 募集要項

- ・開催名：第11回 全国高校生地方鉄道交流会 in 岬町
- ・テーマ：通年《地域創生と鉄道の役割》
第11回《閑空利用者を多奈川線に誘客する方法》
- ・開催期間：2022年8月5日(金)～7日(日)
- ・申込締切：2022年6月30日(木) 20時
- ・開催場所：大阪府泉南郡岬町
南海電気鉄道 多奈川線及び沿線各地
- ・主催：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
公式HP <https://chitetsukoryu.org/>
公式Facebook <https://www.facebook.com/chitetsukoryu>
公式Twitter <https://twitter.com/800xnd04qib85>
- ・後援：国土交通省、大阪府、大阪府教育委員会、岬町、岬町教育委員会
一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人東京私立中学高等学校協会 委申請中
- ・協力：大阪府泉南郡岬町 <http://www.town.misaki.osaka.jp/>
南海電気鉄道株式会社 <https://www.nankai.co.jp/>
株式会社LEAM Japan、ダゼロ株式会社、有限会社アクアプレス、株式会社大和田組
- ・お問合せ：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局(株式会社おおだぐみ内)
TEL: 03-5422-1146(平日10時～17時) e-mail: info@chitetsukoryu.org
- ・備考：新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、必要に応じて変更する場合があります。また、現地での対策については大阪府及び岬町、厚生労働省等の感染症対策の基本方針を遵守し実施いたします。

■全国高校生地方鉄道交流会概要 <https://chitetsukoryu.org/>
■募集要項 <https://chitetsukoryu.org/2022event/#011>

■最優秀校には副賞として多奈川線のヘッドマークデザイン権が授与!



※画像はイメージです。当法人代表理事3月23日撮影

■写真部門は優秀作品を岬町内等で公開展示!

■現地参加者全員プレゼント及び副賞 ※画像はイメージです。



■入賞者には優等券を模した賞状を授与。



※優等券は厚紙ではまった切符を指します。

■この件でのお問い合わせ

一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会 事務局 株式会社おおだぐみ内 担当：桑田
〒106-0013 東京都港区赤坂町1-10-2 鉛文ビル3階
TEL: 03-5422-1146 FAX: 03-5422-1145 e-mail: info@chitetsukoryu.org

■ 参加賞 缶バッチ



■ JCOM LIVEニュース 6月22日ゲスト出演



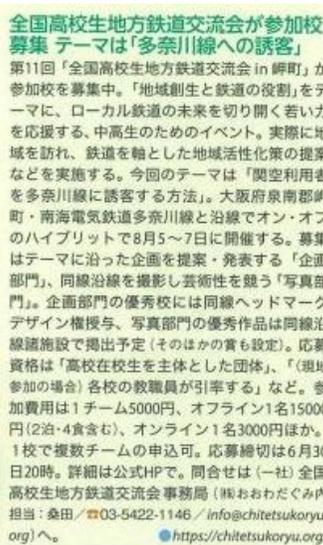
11月1日



■ 大阪日日新聞 5月12日



■ 鉄道ジャーナル7月号



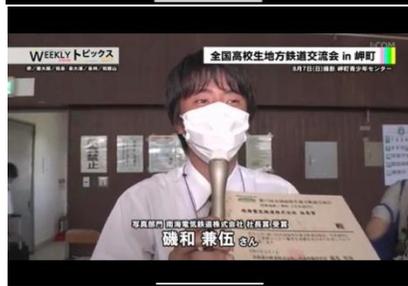
■ JCOM WEEKLY トピックス／2022年8月20日放送



■ 鉄道チャンネル 2022年8月13日掲載



■ 読売テレビ 【かんさい情報ネットten.】 2022年8月8日放送



■ 日刊工業新聞 2022年8月4日(木)掲載



■ 読売新聞 10月24日



デザインしたヘッドマークをお披露目する生徒ら（岬町で）

岬の夕日ヘッドマークに
南海電鉄 浪速中高生デザイン
岬町で今夏開かれた「全
国高校生地方鉄道交流会」は29日、会場で最優秀賞に選
ばれた大阪府住吉区の浪速
高校・浪速中学校鉄道研究部
がデザインしたヘッドマー
クを掲げた電車の出発式で、
多奈川駅で期間限定で、11
月30日までの期間限定で、
主に多奈川線で運行する。
交流会は鉄道を研究する
中学・高校生同士や鉄道事
業者との交流が目的で、今
年は8月5日〜7日に岬町で
開かれ、オンライン参加を
含む11校以上が参加。岬町
を走る多奈川線の利用促進
や地域振興策のアイデアを
ファンディングの活用など
どり案を提示した同鉄道
研究部が最優秀賞に選ば
れた。
出発式で、岬町の夕日と
海、同校のエンブレム「ハ
ト鳥」をあしらったヘッ
ドマークをお披露目され
た。同高生、野田桜廣さ
ん(16)は、多くの人に岬町
へ足を運んでもらう、ヘッ
ドマークを見ていただけれ
ばうれし」と話した。

読売新聞大阪版 2022年10月24日 朝刊33

■ 南海電鉄

10月14日 RELEASE



2022年10月14日
南海電気鉄道株式会社

当社初！沿線学校に通う生徒がヘッドマークをデザイン！
10月23日（日）から多奈川線の列車に提出します

南海電気鉄道株式会社（社長 渡辺 光寿、以下「南海電鉄」）では、2022年10月23日（日）から、多奈川線を走る列車に、沿線中学校・高校の鉄道研究部生徒7人が、思い思いのデザイン案を記入したヘッドマークを期間限定で掲出します。生徒がデザインしたヘッドマークを掲出するのは当社では初めての取り組みです。

本取組みは、8月5日〜7日に一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会が、中高生を対象に岬町で行った「第11回全国高校生地方鉄道交流会 in 岬町」のプレセッションにて、「南海電鉄 住吉高生専ら南海電鉄多奈川線沿線中学校の鉄道研究部」に募集してヘッドマークデザイン権を申し込んだものです。
詳細は以下の通りです。



ヘッドマークについて

浪速高等学校・浪速中学校の鉄道研究部生徒がデザインしたヘッドマークを、多奈川線を運行する列車（他
の列車は除く予定）に掲出します。

- (1) 掲出期間 2022年10月23日（日）〜11月30日（水）※10月23日は、みどり線乗りこみ17時前から
- (2) 掲出列車 多奈川線を運行する列車（他の列車は除く予定）

二浪速高等学校・浪速中学校の鉄道研究部より

※ヘッドマークデザイン協力のお願い*
本校は神社神道の教えを建学の精神として日々教育活動に取り組んでおり、生徒育用のプログラムのエンブレムにも三神様の八咫の鳥と八咫鏡がデザインされています。今回のヘッドマークのデザインは、多奈川線を通る岬町の夕日と海に本校のエンブレムデザインの八咫の鳥と八咫鏡の化身とされる八咫鳥をアレンジして取り入れました。

※生徒のコメント*
絵が好きなもので、ぜひ南海電鉄多奈川線に足を運んでもらってほしい。（香南 優真）
部員たちで協力してデザインしたヘッドマークののびのびと楽しかった。（藤田 愛実）

10月27日 社内報

**「NEWS」生徒デザインのヘッドマーク
を列車に掲出中！**



■ 月刊「Newsがわかる」毎日新聞出版発刊 2022.12月号



**全国高校生地方
鉄道交流会**
全国高校生地方鉄道交流会（地鉄交流会）は成城高校（東京都）を中心に2012年から活動しています。鉄道ファンの生徒たちが各地の鉄道会社や沿線住民らと毎年現地で交流し、地域を活性化するアイデアを提案しています。



地鉄交流会の写真部門で南海電鉄社員賞を受賞した多奈川線を撮影した高校生らの作品

関西空港の利用者をローカル線へ

今年の交流会は8月5日から2泊3日、大阪府岬町で7校の生徒約60人が参加して開かれ、4校の約40人もオンラインで参加しました。テーマは岬町内を走る南海電鉄多奈川線（全長2.6キロ）に近く、関西空港の利用客をどうやって呼び込むか。参加校はそれぞれが練ったアイデアに、沿線を見学したり住民アンケートを取ったりして調べた成果も盛り込み、最終日に発表会を行いました。



南海電鉄千代田空港駅等で観望者の説明を聴く 南海電鉄多奈川線の周辺地区 交流会参加者らと大阪府岸里町市で6月5日



南海電鉄多奈川線の周辺地区

リポーターが集まる鉄道に

岬町や南海電鉄関係者も加わった審査で最優秀賞に選ばれた浪速高校（大阪府）の提案は、多くの人の思い出になり、リポーター（繰り返し利用する人）が集まるようにする活性化策でした。沿線の絶景や観光拠点に利用客用の施設を作るアイデアなどで、賞金はインターネットで寄付を募るクラウドファンディングで集めます。協力者へのお返しに、岬町に何度も来てもらうツアー招待、割引券プレゼントなどを盛り込みました。ほかの参加校からも、沿線の特徴を生かした個性的なアイデアがたくさん出されました。



最優秀賞を受賞した浪速高校生徒たちと 大阪府岬町で6月7日

活動通じて成長する生徒たち

成城高校の元英語教師で、地鉄交流会を設立時から運営している代表理事の大満貴之さんは、これまでの活動を振り返ってこう話します。「生徒の目の付けどころやアイデアの新鮮さが毎年驚かされます。鉄道が好きというだけでなく、鉄道が走る地域や人と触れ合って関心を広げ、大人が思いもよらない提案をして成長を感じている子ども们がいます」



大満貴之さん



今年は1872（明治5）年10月14日、新橋〜横浜間で日本初の鉄道が開通して150年の節目の年だよ。ローカル線の経路は大変ありがたいけれど、便利で楽しい鉄道を増やすために10代の人たちの発想は大切だね

写真は全国高校生地方鉄道交流会提供

Economic & Business Topics

経済・経営と鉄道事業

東洋経済新報社
記者 大坂直樹

全国の高校生たちが競う合う 「地方鉄道」の活性化策

8月6日から17日間にわたって熱戦が繰り広げられた全国高校野球・夏の甲子園大会は東北勢初となる仙台育英高校の優勝で幕を閉じたが、同時期に全国の鉄道好きの中高生たちが同じ関西に集い、情熱を傾けた催しがあった。8月5日から7日にかけて大阪府泉州郡岬町で開催された「全国高校生地方鉄道交流会(地鉄交流会)」である。

地鉄交流会は全国の高校生やそのほかの学生、生徒、児童が鉄道を研究し、鉄道事業者と交流することを目的として2012年に第1回が開催された。今回で11回目。毎回全国の地方路線の所在地が開催場所となり、今回の会場として選ばれたのが大阪府の最南端に位置する岬町だ。岬町は古くから淡路島に渡る交通の要衝として知られ、戦後は深日港～淡路島間、深日港～徳島間の定期航路が開設されていた。関西国際空港からも20km程度しか離れていない。

岬町には南海電鉄の多奈川線が走っている。みさき公園駅と多奈川駅を結ぶ全長2.6kmのローカル線である。川崎重工業の造船所が岬町にあり、労働者の通勤手段として使われていた。難波から連絡急行が運行し、大阪と淡路島・徳島を最短で結ぶルートとして人気を集めたこともある。しかし後に造船所は閉鎖され、さらに明石海峡大橋の開通で深日港と淡路島や徳島を結ぶ定期航路も消えた。南海が運営し、遊園地、動物園、水族館を併設して多くのレジャー客で賑わった町内のみさき公園も2020年に閉鎖されてしまった。1980年代には2万人を超えた人口も現在は1万5000人まで落ち込んでいる。

このような状況をベースに、参加校に与えられた研究テーマは「閑空利用者を多奈川線に誘客する方法」である。交流会には写真部門も併設され、期間中に沿線各地で撮影した写真はプロの写真家によって評価される。地元の岬高校から東京都、石川県、広島県など遠方の学校まで11校が参加し、研究成果や写真の腕前を競うことになった。

交流会を運営するのは一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会。事務局は東京都新宿区にある成城中学校・成城高等学校にあり、元同校の英語教師、大溝貫之氏が代表理事を務める。大溝氏は同校を定年退職、現在は世田谷学園中学・高等学校の非常勤講師である。大溝氏はほかにも数名のスタッフが手弁当で運営を手伝う。実は記者も研究発表の審査員の席に名を連ねている。

開催にあたってはまず、どの地域、どの鉄道会社で交流会を行うかを定める必要がある。「鉄道会社は交流会を面倒くさいと思わないのか」と疑問に感じたが、大溝氏は「逆で、中高生の研究発表を支援することはCSR(企業の社会的責任)活動の重要な要素でもある」と笑って否定した。今回は多奈川線が舞台ということもあり、南海電鉄のサポートが得られた。たとえば、研究成果の優秀校には副賞と



地鉄交流会の開催にあわせて南海多奈川線を走った加太線から撮影の「めでたいでんしゃ」(深日町)

して多奈川線のヘッドマークのデザイン権が付与される。大溝氏によれば、持ちかけた当初は南海もとまどっていたが、交流会の意義が社内に浸透するにつれ、むしろ南海側から遊覧車をしてくれるようになった。普段は加太線を走っている観光列車「めでたいでんしゃ」のうち、ピンク色の「さち」を会期中に限り多奈川線で特別運行してくれるという。もちろん、多奈川線では初の運行だ。

8月5日午後1時、60名を超える生徒たちが大阪府河内長野市にある南海電鉄・千代田工場に集まった。「みなさんこの3日間で行っていることを学んで、驚くことも多いと思います。学んで驚けば変わります。3日間の体験でどんどん変わってください」大溝氏は挨拶をすくすく話した。その後、8グループに分かれて千代田工場で行われている検修作業の見学が始まった。「車両基地の一般公開といったお祭りではなく、通常業務の様子を見学するのです」。大溝氏は生徒たちへの注意も忘れていない。

2日目は岬町の散策や又双輪「深日洲本ライナー」への試乗会。深日港と淡路島の洲本港の間に定期航路を復活すべく、岬町と兵庫洲本町が毎年期間を区切り取り組んでいる事業である。この日は岬町のコミュニティバスが乗り放題となり、生徒たちは多奈川線の沿線各地の写真撮影したり、地元の人たちから話を聞いたりして過ごした。

最終日はよいよ、研究成果の発表だ。会場は岬町青少年センター。現地に来られない参加校とはインターネットで回線が繋がった。各校の持ち時間は8分。時間内に研究成果を発表する。どの学校も事前の練習を重ねていたようで、はっきりした声で、時には身振り手振りも交えながらプレゼンテーションを行う。パワーポイントなどで作成

されたスライドもプロ顔負けの出来栄だ。とはいえ、時間をオーバーすると発表が途中で打ち切られる。最後まで発表できず悔しそうな表情の生徒もいた。

各校の研究発表内容は思いつきではなく、事前にフィールドワークを行い、それを踏まえて練られたものが多かった。岬町の住民へのアンケート調査に基づき活性化案を考えた発表もあった。どの学校も決して鉄道を中心に置いた発想ではなく、岬町を活性化するための方法を考え、そのとき鉄道がどのような役割を果たせるかということを中心に考え抜いていた。また、インスタ映えするスポット作りやVR(仮想現実)サバイバルゲームの拠点化といった若者ならではのアイデアもあり、大人たちをうならせた。

どの企画内容も甲乙つけ難い内容だった。厳正な審査の結果、浪速高等学校・浪速中学校が「南海電気鉄道株式会社社長賞」を受賞した。岬町の松岡裕二副町長は「若い人の発想を町づくりに活かしたい」と語る。これらの企画内容は、実現に向け関係者間で検討されているはずだ。

高校生同士の会話が設立のきっかけ

地鉄交流会はどのようにして生まれたか。大溝氏に聞いてみた。話は、大溝氏がかつて勤務していた成城中・高等学校から始まる。同校が中高一貫校で進学校として知られるがクラブ活動も盛んだ。数多くあるクラブの中でも、鉄道研究部は創部から70年を超える伝統を持ち、ジオラマ制作は全国高校生鉄道模型コンテスト等の大会において受賞校の常連である。所属する生徒数が毎年30~40人、多い年には50人を超えることもあるという大所帯。「鉄道研究部があるから受験したという部員いる」というほどだ。

2004年、鉄道研究部の部員たちが夏合宿で能登半島を訪れた。この地では地元第三セクターのこの鉄道の能登線穴水~船島間が2005年春に廃止されることになった。部員たちはこの鉄道の列車内でたまたま能登線沿線にある珠洲実業高校の生徒たちと乗り合わせた。彼らから「鉄道が廃線になると自分の学校の高校がなくなってしまうかもしれない」と聞き、部員たちはショックを受けた(実際、珠洲実業は2010年に他の高校と統合され、閉校となった)。鉄道研究部の生徒たちは合宿後に能登線の存続計画を自発的に作成。この計画書は珠洲実業に届けられた。

それから7年あまり、大溝氏は計画書のことをすっかり忘れていた2012年2月、夜遅く職員室で仕事をしていたら1本の電話がかかってきた。電話の相手は秋田内陸縦貫鉄道の酒井一朗社長(当時)。全国にある第三セクター鉄道会社の社長らとの、この鉄道の社長らと鉄道研究部の部員たちが「能登線存続計画」を作成したことを聞き、ぜひ秋田に夏合宿に来てほしいという。秋田内陸縦貫鉄道の沿線にある北鷹高校も珠洲実業と同様の課題を抱えていたのだ。電話の翌日、酒井氏が学校を訪れた。

実は大溝氏は単に列車に乗り、写真を撮るだけという合宿スタイルに満足していなかった。「これでは鉄道“研究”部とはいえない」。さらに、最近の生徒たちの資質に課題があるとも感じていた。他者とのコミュニケーションがうまく取れない生徒もいる。自分の知識や経験を披露することに関心があり、相手の話を聞くことが苦手なのではないかと。そのためには他校の同世代の人と交流し、世の中にはさまざまな考え方があることを知る必要があるのではな



8月7日 熱のこもったプレゼンテーションを繰り広げた地鉄交流会参加生徒たち (写真:全国高校生地方鉄道交流会)

いか。酒井氏と大溝氏の間で、鉄道と地域の人々のつながりを研究する合宿を目指そうと意見が一致した。

酒井氏が帰った後ですぐ鉄道研究部の3人の顧問で話し合ったところ、話はさらに発展した。地域の鉄道をテーマに地方に住む高校生と都会に住む高校生が課題や今後の活性化策について発表できる会を作ろうか。1校だけではもったいない。複数の学校が参加するのはどうか。その日のうちに交流会を作ることでもとまった。全国の高校生が参加できるよという考えから、この会は「全国高校生地方鉄道交流会」と命名された。

鉄道模型コンテストなどで気心の知れた他校の顧問の先生にも声をかけ、都内3校の参加が決まった。酒井氏の尽力により、仙台市、秋田市、さらに国の機関である東北鉄道協会の後援も得られ、2012年8月22日、第1回の交流会が仙台市内で開催された。2泊3日の日程で、1日目は地元との交流、2日目は沿線各地の視察や写真コンテストに出品する作品の撮影など、3日目は企画案の発表会というスタイルはこのとき決まった。

2013年には第2回の交流会がいすみ鉄道のある千葉県で開催され、その後も2014年に一畑電車、2015年三陸鉄道、2016年のと鉄道、2017年鹿島臨海鉄道、2018年東京モノレール、2019年JR北海道花咲線と続いた。

2020年はコロナ禍の影響で全国の地方鉄道をテーマにしたオンラインでの交流会となった。しかし、「桜井線の活性化案」を発表した奈良女子大学附属中等教育学校が最優秀賞を受賞し、その年の12月にJR西日本の協力で、京都鉄道博物館においてあらためてプレゼンテーションが行われた。「桜井線には難読駅名が多いので難読駅名ラリーをするなど、難読駅名をもっとアピールしてはどうか」という提案はすぐにも実現可能で、関係者をうならせた。2021年は富士急行で会期を1日に短縮して開催された。

「地鉄交流会が今後どのような方向に向かっていけばよいと考えているか」。こんな質問を大溝氏に投げかけてみた。47都道府県からあまねく高校生が参加するようになっただけという答えを予想していたのだが、大溝氏の口から発せられた答えは違った。「活性化案の中から実際に社会を動かすような提案が少しでも多く出てほしい」。

趣味とは個人的嗜好に左右されるものであるが、鉄道の果たしている社会的な役割を鑑み、鉄道と社会の両側を考え、どうすれば世の中をもっとよくできるかと自分の頭で考えてほしい。若者は大人にはない大胆な発想ができるしそれを実現することもできる。大溝氏の発言はどこまでも教育者としての信念に裏打ちされていた。



第10回 富士急行線（大月—河口湖）

- 開催期間： 2021年11月23日 ※コロナ影響の為、1日開催（宿泊無し・ハイブリット）
- 会場： 山梨県富士吉田市
- テーマ： SDGsを切り口にコロナ禍に負けない活性化施策とは！
- 参加校： 富士学苑高等学校、成城中学・高等学校（2チーム）、城北埼玉高等学校
芝学園芝中学校芝高等学校（2チーム）、渋谷教育学園渋谷高等学校
正則学園高等学校、静岡県立韮山高等学校
全7校・9チーム（内オンライン3校） / 参加人数52名（内引率6名）
- 後援： 国土交通省、山梨県教育委員会、富士急行線沿線活性化促進協議会
一般社団法人日本民営鉄道協会、山梨日日新聞社、山梨放送
テレビ山梨、東京都私立中学高等学校協会

富士山駅集合～発表

■ 富士登山電車内／講演：富士急行株式会社 事業部 鉄道管理センター 奥田壮一センター長



■ 鉄道技術所 見学／・カラノッチ・車両上下見学・運転席／講演：富士急行株式会社 事業部 鉄道技術所 宮下武也所長



■ プレゼン会場：都留文科大学



■ 講演【写真家 富塚晴夫氏】



■ 講演【富士急行株式会社 事業部CS推進課 古屋喜正課長】



■ 審査員

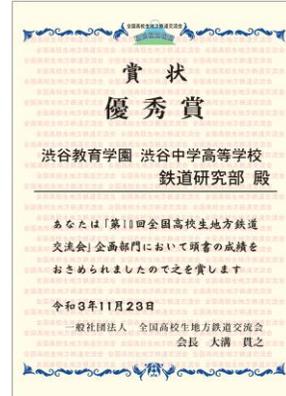
- ・富士急行株式会社 事業部
鉄道管理センター長 奥田壮一氏
- ・都留市役所 総務部企画課 つる総合戦略室
政策推進担当 SDGs推進幹 小宮敏明氏
- ・富士急行株式会社 事業部 安全・環境・CS推進課
課長 古屋善正氏
- ・都留文科大学 教養学部 地域社会学科
准教授 鈴木健大氏
- ・株式会社東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹氏
- ・写真家 山中湖写真ギャラリー 富塚晴夫氏
- ・一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大溝貴之

企画部門 表彰 ※硬券賞状 初使用

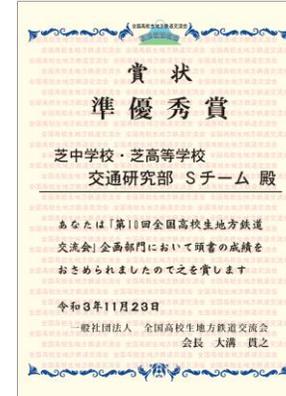
■最優秀賞 ※副賞：ヘッドマーク制作権
静岡県立韮山高等学校 KITE



■優秀賞 ※副賞：カーボンブラシ
渋谷教育学園 渋谷中学高等学校
鉄道研究部



■準優秀賞 ※副賞：カーボンブラシ
渋谷教育学園 渋谷中学高等学校
鉄道研究部



※副賞

刷子（カーボンブラシ）



写真部門 表彰 ※硬券賞状 初使用 ①



■最優秀賞
「富士山を背に受け」
芝学園 芝中学校・芝高等学校 高校1年 梅本悠太郎



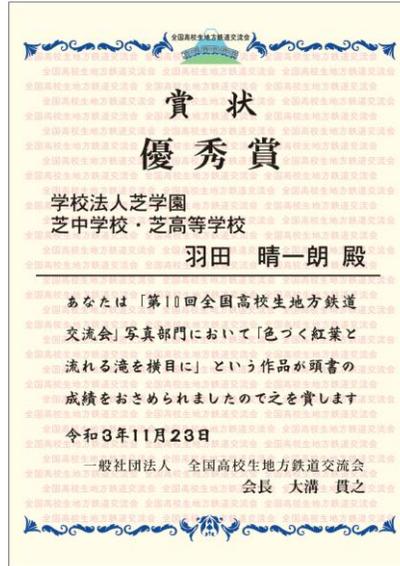
写真部門 表彰 ※硬券賞状 初使用 ②



■ 優秀賞

「色づく紅葉と流れる滝を横目に」

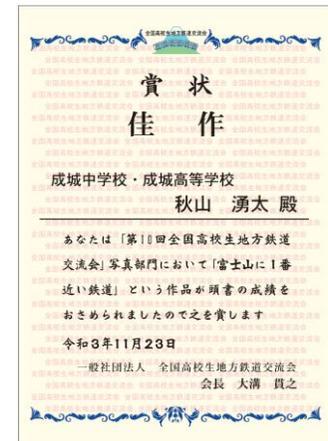
芝学園 芝中学校・芝高等学校 高校1年 羽田晴一郎



■ 佳作

「富士山に1番近い鉄道」

成城中学校・成城高等学校 中学3年 秋山湧太



■ 副賞

富士急行線6000系
普通電車に掲出 (3賞共通)



2022年3月27日 企画部門 ヘッドマーク受賞式

■鉄道技術所にて
ヘッドマークを手
静岡県立韮山高等学校 KITe の皆さん（中央）
富士急行株式会社 事業部 鉄道管理センター 奥田センター長（左）
大溝代表（右）



■ヘッドマークデザイン



広報

■募集案内/A4両面

■開催案内/B2ポスター・B3中吊り

■写真部門 副賞 中吊り・ドア横 B3

■集合写真



■参加賞 缶バッジ×2種



直径 58mm



全国高校生地方鉄道交流会
November 23, 2021

※タイアップ 開催記念硬券セット

【プレス】 地鉄8社コラボ！全国高校生地方鉄道交流会 開催記念硬券セットの発売について
 ■21年10月06日
地方鉄道8社コラボの硬券セットを10月9日(土)に発売します。

2021年11月23日(火・祝)に、第10回「全国高校生地方鉄道交流会」が富士急行線にて開催されることを記念し、これまで交流会を受け入れてきた地方鉄道8社がコラボした「全国高校生地方鉄道交流会 開催記念硬券セット」を2021年10月9日(土)より数量限定で発売いたします。

富士急行
 © 2021年10月06日 10時00分

富士急行株式会社(本社：山梨県富士吉原市、支店/営業所：管内各一部)では、2021年11月23日(火・祝)に第10回「全国高校生地方鉄道交流会」が富士急行線にて開催されることを記念し、これまで交流会を受け入れてきた地方鉄道8社がコラボした「全国高校生地方鉄道交流会 開催記念硬券セット」を2021年10月9日(土)より数量限定で発売いたします。

富士急行 全国高校生地方鉄道交流会ヘッドマーク列車 運転

富士急行は、「全国高校生地方鉄道交流会」企画部門最優秀賞の副賞として、オリジナルヘッドマーク掲出列車を運転。ヘッドマークは、静岡県立富士山高等学校の生徒がデザイン。運転期間は、2022年1月16日(日)～2月20日(日)。

2022年1月17日(月) 14時18分更新

ヘッドマーク掲出列車

公式情報： [全国高校生地方鉄道交流会ヘッドマーク付き列車の運行について](#) (富士急行)
 カテゴリ： 関東エリア 地方交通 乗り鉄 撮り鉄 一般形車両 一般形電車
 タグ： #富士急行
 期間： 2022年1月16日(日)～

▼ カレンダーを表示する

公式リリース

全国高校生地方鉄道交流会ヘッドマーク付き列車の運行について

イメージ画像 Photo: ReRin

鉄道チャンネル リ！最新ニュースはこちら

鉄道ニュース 鉄道コラム 鉄道クイズ 鉄道ムービー ニュースアプリ スカパー

トップページ > 鉄道チャンネルニュース > 最優秀賞に静岡県立富士山高等学校チーム 10回目の「全国高校生地方鉄道交流会」開催

51年連続増配株は1万円で買える
 買ったら売らず年4回の配当を貰う

最優秀賞に静岡県立富士山高等学校チーム 10回目の「全国高校生地方鉄道交流会」が富士急を舞台に開催

2021.11.30 ニュース 企業

f t g+ B!

マイカー依存社会からの脱却 自由な交通ネットワークの構築

オンラインで発表する富士山チーム (配信画面キャプチャ)



※富士山駅誕生10周年記念弁当
 (記念硬券入場券付き)
 ※掛け紙：地鉄交流会オリジナルver



第9回 全国

※コロナ禍の為対象路線は自由としオンラインにて1日開催

- 開催日： 2020年8月21日
- 会場： オンライン（ZOOMミーティング）
- テーマ： 鉄道と街+〇〇 ～何をプラスすると活性化するのか？～
- 参加校： 京華中学高等学校、芝学園芝中学校芝高等学校
 渋谷教育学園渋谷高等学校、成城中学校成城高等学校
 目黒学院中学高等学校、芝浦工業大学柏高等学校
 奈良女子大学附属中等教育学校／全7校
- 後援： 国土交通省、東京都私立中学高等学校協会

企画部門 表彰

■最優秀賞【奈良女子大学附属中等教育学校 鉄道同好会／桜井線の活性化】 ※副賞：京都鉄道博物館見学及び発表



JR西日本様のご協力により、京都鉄道博物館見学と館内での発表を実施
開催日：2020年12月25日
受賞校：奈良女子大学附属中等教育学校
備考：発表はZOOMにて、東京とつないでLIVE配信とした。



■審査員賞 大坂直樹氏
【京華中学高等学校 鉄道研究部
／北総線活性化企画案】
※副賞：サイン入り書 週刊東洋経済



■会長賞
【渋谷教育学園渋谷中学高等学校
鉄道研究部／原宿宮廷ホーム改造論】
※副賞：2021年ポスターカレンダー



■審査員賞 石井吉春氏
【芝学園 交通研究部
／東京メトロ日比谷線活性化案】
※副賞：サイン入り整備と地域経済の発展

■釧路新聞 8月27日

視覚プラス味覚
若い発想っていいなあ。
全国高校生地方鉄道交流会
が、先週末にオンライン開催
された。例年、高校生が現地
に赴き地方鉄道の活性化策を
話し合▼昨年は、根室市を舞台に花咲
線などの活用について議論した。今年は
現地訪問ができないためインターネット
や文献などを調べ、全国から参加した7
校がその成果を発表した▼東京都内にあ
る成城中学校高等学校はJR北海道がテ
ーマ。「車内のストープを利用した「食
列車」」「白毛町のウボボイを活用した
アイヌ民族伝承のアーチェンが提案され、
ハブティー」などを乗しめる「花香る列
車」は興味をそった▼同校と千葉県に
ある芝浦工業大学柏高等学校は、自宅で
鉄道旅行気分が味わえる「オンラインツ
アー」を発表した。車内の数カ所にカメ
ラを設置し、パソコンなどで車窓を乗し
む。ツアー前に沿線の特産品を注文して
おくのがみそ。画面で景色を楽しみなが
ら地元の名産品を打って▼生徒たちは
「(特産品を味わうことで)生産者とも
対話できる」と話していた。釧路総合振
興局はウェブ上で観光動画を見ながら地
元グルメも楽しめるバーチャルツアーの
モニターを募集している。鉄路を含む多
くのメニューをつくりたい。(星 匠)



第8回 JR北海道 根室本線「花咲線」 (根室—釧路)

- 開催期間： 2019年8月1日～3日
- 会場： 北海道根室市
- テーマ： 花咲線を残すために ～地域のための花咲線をどう活かすか～
- 参加校： 国立釧路工業高等専門学校、成城中学・高等学校、
北海道根室高等学校、目黒学院中学・高等学校
- 後援： 国土交通省北海道開発局、北海道、根室市、釧路市
東京都私立中学高等学校協会、北海道私立中学高等学校協会
北海道新聞根室支局

2019年8月1日(木) 釧路集合～根室移動 ①

■ 釧路運輸車両所 見学



■ 北方四島交流センター〈ニ・ホ・ロ〉見学

根室市長 ご挨拶 外山学芸員 講話「根室市の歴史と自然」 北方領土元島民 講話&館内見学

ホスト校 北海道根室高等学校との交流



■ 写真家 井上浩輝氏 講演



1979年札幌市生まれ。
札幌南高校、新潟大学法学部卒業
東北学院大学法務研究科修了後、
北海道に戻り、風景写真の撮影を開始。
次第にキタキツネを中心に
動物がいる美しい風景を追いかけるようになる。

2016年
米誌「National Geographic」
『TRAVEL PHOTOGRAPHER OF THE YEAR 2016』
ネイチャー部門において、日本人初の1位を獲得。
自然と人間社会のかかわりへの疑問に端を発した
「A Wild Fox Chase」というキタキツネを追った作品群を制作、発表してきた。
2017年には、毎日放送の番組『情熱大陸』でも撮影する姿が取り上げられた。



写真は国内のみならず海外の広告などでも使用され、
近時は、AIR DO、SONY、東芝メモリなどと提携しながら野生動物や風景など「いま生きている光景」にレンズを向けている。出版物には、写真集やエッセイ集がある。

2019年8月2日(金) 納沙布岬～根室市内 調査研究

■ 納沙布岬



■ 室蘭市内 調査研究



2019年8月3日(土) プレゼン発表～講演

- 北海道旅客鉄道株式会社 執行役員 釧路支社長 萩原国彦氏／講演：花咲線の取り組みについて



<プロフィール>
 昭和40年 札幌生まれ
 平成元年 北海道旅客鉄道株式会社入社
 平成26年～30年 鉄道事業本部営業部長
 を経て平成30年6月 執行役員釧路支社長 現在に至る



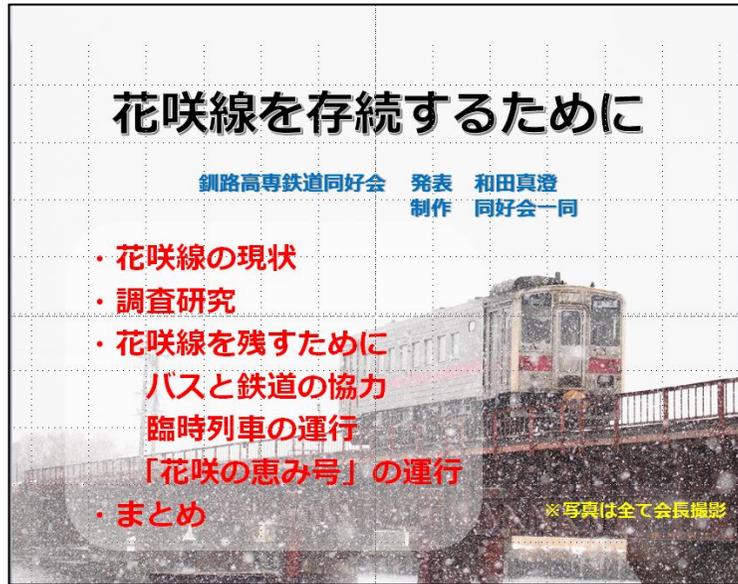
- 写真家 矢野直美氏／
 講演：鉄道がる町の魅力と、鉄道からはじまる物語



国内外を旅して写真を撮り、文章をつづる。
 鉄道旅を愛することから「元祖・鉄子」の愛称でも呼ばれる。
 写真作品とエッセイを発表しながら、様々なメディアに登場。
 著書：「汽車通学」（KADOKAWA／メディアファクトリー）
 「おんなひとりの鉄道旅」（小学館）
 「鉄子の旅写真日記」（CCCメディアハウス）など

企画部門 表彰 ①

■北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社長賞／国立釧路工業高等専門学校 ※ヘッドマーク制作権 授与 ※副賞：パスケース・マウスパット



副賞



■根室市長賞／成城中学校・高等学校 ※副賞：盾



企画部門 表彰 ②

■ 全国高校生地方鉄道交流会 会長賞／目黒学院中学・高等学校



■ 花咲線賞／北海道根室高等学校



■北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社長賞

■根室市長賞 「海の見える街」成城高等学校 1年 藤山裕介



■副賞：パネルを3駅《釧路・厚岸・根室》に掲出（3賞共通）



■北海道根室振興局長賞 「暮らしと列車」成城中学校 2年 峯岸祐樹



写真部門 表彰 ②

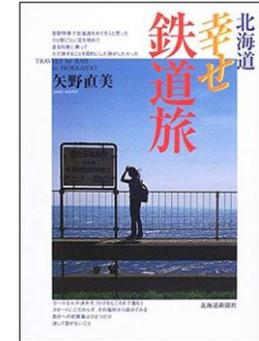
■ 井上浩輝賞「東のカーブ」 成城中学校 2年 山本匠真



■ 矢野直美賞「花咲Dream」
目黒学院高等学校 1年 兼高裕輝



副賞：サイン入り写真集



■ 花咲線賞「最果ての海を横目に」
国立釧路工業高等専門学校
3年 和田真澄



■ 全国高校生地方鉄道交流会会長賞
「現世と黄泉をつなぐ道」
目黒学院高等学校 2年 月本和希



■ 努力賞

「夏の風となれ、花咲線」
三宅倅史



「自然とともに」 成城中学校
1年 山本拓真



副賞：パネル掲出（3賞共通）

2019年10月10日 企画部門 ヘッドマーク受賞式



花咲線茶内駅を出発する
ヘッドマーク掲出の根室行き



ヘッドマークを手に和田さん（左）
JR北海道 萩原釧路支社長（右）



掲出列車の前で
和田さん（左）
大溝代表（右）

パブリシティ ①

■北海道HBC放送 3日間 密着取材



■釧路新聞社 星代表



■ヘッドマーク授与式

北海道新聞、読売新聞、釧路新聞社、NHK、HBCなど、たくさんの媒体社が取材に訪れた。



HBC北海道放送 番組

今日ドッキリ! 特集 赤字の花咲線を救え 活性化のアイデアは?

<https://youtu.be/ao-fonbWzi4?si=7Ge6vJPTggfdDfRG>

■北海道新聞

7月26日

花咲線活性化、高校生が提案 根室で1日から「鉄輪ピック」 道内外4校50人参加 写真コンテストも

07/26 05:00



【根室】高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委員会主催）が8月1～3日にJR花咲線沿線や根室市で開かれる。道内初の開催で、道内外から4校、約50人の参加が予定されている。花咲線存続に向けた利用促進策の発表などがあり、実行委員は市民の来場を呼び掛けている。

鉄輪ピックは今回で8回目。鹿島臨海鉄道（茨城）や秋田内陸縦貫鉄道などをテーマに全国各地で開催してきた。今回の開催は、根室市が「花咲線が全国で話題になるきっかけになれば」と招致した。

実行委によると、参加するのは根室高校、釧路高専、成城高校（東京）、目黒学院高校（東京）の4校。初日の1日は釧路駅を出発し、花咲線に乗りこえて根室に到着、市内で開会式を行う。2日は市内や花咲線沿線で調査・研究活動や写真撮影を行う。

8月1日

花咲線維持、高校生のアイデアで 鉄輪ピック開幕

08/01 21:21



鉄輪ピックの開会式で健闘を誓う参加者たち

【根室】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）が1日、根室市で開幕した。JR北海道が「単独では維持困難」とする花咲線（釧路―根室）の沿線を調査し、最終日の3日に路線存続に向けた利用促進策などを発表する。

鉄輪ピックは8回目で道内では初開催となる。今回は根室市が花咲線について「全国で話題になるきっかけになれば」と招致した。

参加するのは、成城高（東京）、目黒学院高（東京）、根室高、釧路高専の鉄道研究部などに所属する約30人で、出場校ごとに利用促進策を発表する企画部門が行われる。このほか、個々の生徒が花咲線沿線をテーマに撮影した一コマの出来栄を競う写真部門もある。

8月3日

花咲線利用促進へ高校生ら提言 鉄輪ピック

08/03 18:01



ダイヤの工夫などを提言した釧路高専鉄道同好会の発表

【根室】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）の審査会が3日、根室市内で開かれ、4校がJR花咲線存続に向けた利用促進策を発表した。

道内で初開催の鉄輪ピックは1日に開幕。成城高（東京）、目黒学院高（東京）、根室高、釧路高専の約30人が参加し、花咲線に乗りこえたり沿線を調査したりして魅力や課題を探った。

釧路高専鉄道同好会は、バスとの接続の利便性を高めるダイヤの工夫や地元産品を乗せる観光列車などを提言し、JR北海道釧路支社長賞を受賞。鉄道車両のヘッドマーク制作権を受け取った。同会の和田真直会長（2年）は「まずは地元の足として利便性を高めることが大切だと思う。なかなか聞けない他校の意見も聞けて参考になった」と話した。

8月2日



花咲線利用促進 道内初、鉄輪ピック

【根室】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）が1日、根室市で開幕した。JR北海道が「単独では維持困難」とする花咲線（釧路―根室）の沿線を調査し、最終日の3日に路線存続に向けた利用促進策を発表する企画部門が行われる。このほか、個々の生徒が花咲線沿線をテーマに撮影した一コマの出来栄を競う写真部門もある。

沿線を調査し、最終日の3日に路線存続に向けた利用促進策を発表する企画部門が行われる。このほか、個々の生徒が花咲線沿線をテーマに撮影した一コマの出来栄を競う写真部門もある。

8月4日

花咲線に観光列車を

鉄輪ピック 高校生ら活性化案発表

【釧路】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）の審査会が3日、根室市内で開かれ、4校がJR花咲線存続に向けた利用促進策を発表した。

【釧路】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）の審査会が3日、根室市内で開かれ、4校がJR花咲線存続に向けた利用促進策を発表した。

【釧路】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）の審査会が3日、根室市内で開かれ、4校がJR花咲線存続に向けた利用促進策を発表した。

10月11日

花咲線マーク 釧高専生制作

きょうから運行 沿線風景モチーフ

【釧路】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）の審査会が3日、根室市内で開かれ、4校がJR花咲線存続に向けた利用促進策を発表した。

【釧路】全国の高校生らが鉄道を通じた地域活性化のアイデアを競い合う「全国高校生地方鉄道交流会 鉄輪ピック2019」（実行委主催）の審査会が3日、根室市内で開かれ、4校がJR花咲線存続に向けた利用促進策を発表した。

■ 釧路新聞

8月2日

中高生 機関車に興奮

花咲線で調査や研究 鉄輪ピック開幕

全国の鉄道研究部などに所属する高校生が、鉄道を中心とした地域活性化のアイデアを競う「第8回全国高校生地方鉄道交流会」が1日、JR花咲線を舞台にした。沿線各地で調査や研究を行い、最終日の1日は、花咲線の維持・活性化に向けたアイデアを生徒たちが発表する。(写真提供は)

北海道での開催は初めてで、今大会には成城中学・高校(東京都)や自衛隊院中学・高校(四)、根室高(ト)をかまっして管内を見学。車庫内の蒸気機関車やディーゼル機関車を間近で見た生徒たちは「すごい」「本物だ」「なぞを上げながら、夢中でシャッターを切っていた。

成城中の平井歩さん

蒸気機関車とディーゼル機関車を見学する生徒たち

○ 興会式は根室市の北海道北方四島交流センターで開かれ、根室高校の女子生徒も参加した。石田雅樹市長が祝辞や花咲線の歴史を述べた。

大代表理事は「根室の空気を、土を踏んで市長さんの話を聞いた。若い感性をドリドリ動かして、結果としてこの街と花咲線が長くなるように、これから民間、一生懸命頑張りたい」と呼び掛けた。

一行は根室市教委の外出研修生委員、根室市長の鈴木大樹さん(88)から根室の自然や北方領土の話を聞いた。(山本真樹)

地方活性化へ高校生提言

根室で鉄輪ピック開幕

全国の高校生が、花咲線を舞台にして、地方活性化のアイデアを競う「第8回全国高校生地方鉄道交流会」が1日、JR花咲線を舞台にした。沿線各地で調査や研究を行い、最終日の1日は、花咲線の維持・活性化に向けたアイデアを生徒たちが発表する。(写真提供は)

根室市市長 石田雅樹

根室市市長 石田雅樹

和さん、JR釧路支社長賞

鉄輪ピック 活性化提案

根室高校は花咲線賞

和さん、JR釧路支社長賞

根室高校は花咲線賞

10月11日

花咲線ヘッドマーク披露

鉄輪ピックで 和田さん(2年)デザイン

JR釧路

和田さん(2年)がデザインしたヘッドマークが披露された。

和田さん(2年)がデザインしたヘッドマークが披露された。

■ 毎日新聞 8月4日

全国高校生地方鉄道交流会

高校生が鉄輪ピック 花咲線存続へ 4校が提案発表 根室 /北海道

会員限定有料記事 毎日新聞 2019年8月4日 地方版

高校 > 秋馬 > 北海道 > 教育 > 乗り物 >

鉄道をメインに据えた地域活性化のアイデアを提案する「第8回全国高校生地方鉄道交流会(鉄輪ピック in 北海道)」が1～3日、JR花咲線沿線で行われた。3日は根室市内で、JR単独での維持が困難とされる花咲線の集客増に向けたアイデアを出し合った。同交流会の大満貫之代表は「地元の人や鉄道事業者に寄り添う気持ちで、どうすれば良かったか考えた努力の跡があった」と評した。

首都圏や道内から4校が参加。国立釧路工業高等専門学校(以下、国工)の鉄道同好会は、接続に1時間以上を要するダイヤで、木村建設部長が挨拶した。

「鉄輪ピック2019」で、花咲線存続に向けたアイデアを発表する釧路工業高等専門学校(以下、国工)の和真澄さん(北海道根室市の総合文化会館で)



Photo by Ayumu Nishishita



Photo by Shota Yako



■東京モノレール写真部門入賞作品 ポストカード

第7回 東京モノレール

- 開催期間： 2018年8月17日～19日
- 会場： 東京都浜松町
- 参加校： 成城中学・高等学校、目黒学院、芝学園
- プレゼンテーション：
 - 「訪日外国人向けトランジットツアーの実施」
 - 「沿線観光ツアーの実施」
 - 「旅客設備のリニューアル」
 - 「知名度の向上に向けて」



第6回 鹿島臨海鉄道

- 開催期間： 2017年8月22日～24日
- 会場： 茨城県水戸市
- 参加校： 芝学園中学校・芝高等学校
成城中学校・高等学校
日黒学園
清真学園高等学校・中学校

開催内容



■企画部門 最優秀校・清真学園高等学校・中学校（茨城県）制作のヘッドマーク





第5回 のと鉄道

- 開催期間： 2016年8月24日～26日
- 会場： 石川県鳳珠郡穴水町字大町
- 参加校： 東京5校、石川県1校(穴水高校)
- 後援： 国土交通省、石川県、七尾市、穴水町、東京都私立中学高等学校協会
- プレゼンテーション：
 - 「もっと見やすく使いやすい、老若男女にアピールするホームページ改良案」
 - 「地元郷土料理味わい列車」
 - 「沿線施設とコラボレイトした地域紹介・案内ガイド付き列車」
 - 「星座天文観測列車」

開催内容



地元石川県のテレビ局の取材



のと鉄道 穴水駅構内、検修庫で行われた開会式



講演：のと鉄道 山下孝明社長



のと鉄
「花咲いろは ラッピング車両」



2016年8月26日七尾駅にて
「花嫁のれん号」が、
交流会の面々を待っていました

■集合写真



企画部門 表彰



最優秀賞 「のと鉄道社長賞」
副賞 ヘッドマークデザイン権
成城高校鉄道研究部部長 若松鴻太さん

ヘッドマーク 装着



写真部門 表彰

湯浅 啓賞 (最優秀相当) 「TIME STOP」
芝学園 鈴木悠太さん
※副賞 湯浅 啓氏より写真集「のと鉄道」



のと鉄道社長賞 (2位相当)
「のとの日常」 眞屋貴行さん



のと鉄道アテンダント賞 (3位相当)
「走る気動車」 渡辺崇志さん



運転士賞 (3位相当)
「静かな蒼」
金沢泉丘高等学校 越後直哉さん



整備士賞 (3位相当)
「能登に涼みに来ませんか」
芝高等学校 田中颯汰さん



交流会会長賞 (4位相当)
「沿線」
目黒学院高等学校 岸本健太郎さん



第4回 三陸鉄道

- 開催期間： 2015年8月22日～24日
- 会場： 宮古市民文化会館
- 参加校： 岩倉高等学校、成城中学校・高等学校
- プレゼンテーション：
三陸鉄道がJR山田線を譲渡された際の夜行列車(盛～久慈)の運行

開催内容 ・ パブリシティ

プレゼン発表：宮古市民文化会館



講演：三陸鉄道 望月正彦社長



岩手めんこいテレビ 取材・OA



写真部門 入賞作品／企画案 採用

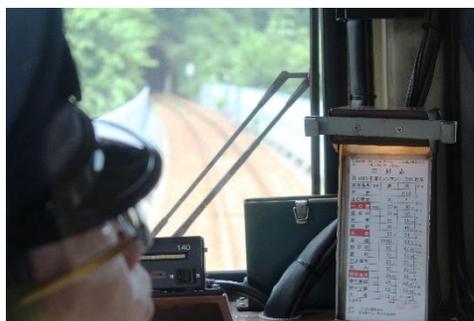
1位「三鉄×三鉄」
岩倉高校 冨塚順斗さん



2位「望洋」
岩倉高校 小川綾斗さん



3位「確認」
成城中学校・高等学校 渡邊麗哉さん



4位「見守る者」
岩倉高校 玉木克尚さん



5位「島越」
岩倉高校 尾形蒼斗さん



最優秀賞：成城中学校・高等学校 ▶
宮古駅 - 釜石駅がJRから移管され1つの長大路線になる事に着目し
リアス線全線を走る夜行列車の運行を提案。
提案内容ほぼそのままの形で実現し、以後も継続して運行されている。

【参考】

<https://sanriku-project.jp/event/article.php?p=590>

三陸縦断夜行列車
さんりくあさかぜ号

9月16日(土) 20:43
三陸鉄道 さかり駅 出発

9月17日(日) 6:18
三陸鉄道 久慈駅 到着

三陸鉄道

運転日・時刻表

	到着時刻	出発時刻
さかり	—	20:43
唐丹	21:12	21:51
釜石	22:01	22:15
宮古	翌01:00	01:30
島越	02:30	04:34
野田玉川	05:10	05:50
久慈	06:18	—

料金

さかり駅 発 ¥8,000- [大人・小児 同額]
釜石駅 発 ¥7,000- [大人・小児 同額]
※9/17有効
久慈→さかり 片道乗車券付(私鉄不可)
お支払い方法 (現金のみ)
● さかり駅よりご乗車のお客様
乗車前に受付の係員へお支払いください。
(19:30受付開始)
● 釜石駅よりご乗車のお客様
列車到着後、釜石駅4番線で
受付の係員へお支払いください。
(22:01列車到着後受付開始)

車両のご案内

● 36-100形・200形
新潟鉄工所(現新潟トランス)製
国鉄車両をベースに新たな
第3セクター鉄道用車両として設計され、
1984年の開業時から三陸鉄道の
シンボルとして現在まで活躍する。
外見の違いはないものの、
200形には飲料自動販売機が搭載されている。

アトラクション

①唐丹駅では40分間停車・入換の間 列車撮影会
(往年の名列車のヘッドマークを装着
仰を装着するかは当日までのお楽しみ)
②釜石-宮古間にてナイトジャンクル
トレインとしてお楽しみいただけます。
③野田玉川駅 40分間停車
(太平洋からの朝日をお楽しみいただけます)

- 係員による車内販売はございません。
必要なお客は事前にご用意ください。
- 途中駅での乗車終了はできません。またその場合の私鉄も行けません。
- 夜間帯を走行いたしますので車内での大声による会話はお控えください。
- 参加しやすい価格設定にするため、軽食等のご提供はございません。

◎席予約・お問い合わせ 営業時間9:00~17:30
三陸鉄道株式会社 旅客営業部 TEL: 0193-62-7000



第3回 一畑電車鉄道

- 開催期間： 2014年8月20日～23日
- 会場： 島根県出雲市
- プレゼンテーション：
「地元住民所有の軽トラックを活用した一畑電車軽貨物輸送列車」
※運送会社の再配達軽減に貢献する三方得の改善案

開催内容／写真部門 入賞作品

一畑電車地域対策協議会の皆さんと交流



運転講習



プレゼン発表



一畑電車社長賞「参道通過」
目黒学院高校 眞田祥平さん



地域対策協議会会長賞
「ON THE GREEN GARDEN!」
岩倉高校 濱口雄幸さん



交流会臨時列車 ▲
(一畑口1901発穴道湖温泉1750一畑口2045)を告げる
行先表示板



地方鉄道交流会会長賞「穴道湖とばた電」
岩倉高校 小山優斗さん



第2回 いすみ鉄道

- 開催期間： 2013年8月5日～7日
- 会場： 千葉県
- 参加校： 都内3校、千葉県1校
- プレゼンテーション：

「イセエビ料理満喫列車」

※地元大原氏がイセエビ漁業高日本一であることに着目。

漁協・地元料理店とのコラボレーション企画として発表し、

同案をもとにした企画がテレビ東京〈ガイアの夜明け〉で取り上げられる。



第1回 秋田内陸縦貫鉄道

- 開催期間： 2012年8月22日～24日
- 会 場： 秋田県仙北市角館交流センター
- 参加校： 秋田北鷹高校、安田学園、成城中・高校、岩倉高校
- 参加者数： 64名
- 来賓： 仙北市長 門脇 光浩様
- プレゼンテーション：
 - 「車内でお見合いパーティ婚活列車」
 - ※近鉄、西武など大手私鉄で実際に運行開始
 - 「ヘッドマーク掲載列車(掲載権を賃貸)」
 - ※様々な鉄道が運用
 - 「ラッセル車が牽引する雪見列車の運行」

表彰

■ 企画部門

- 東北鉄道協会賞「安田学園高等学校 鉄道研究部」
- 北秋田市長賞「岩倉高等学校 鉄道研究部 A班」
- 仙北市長賞「岩倉高等学校 鉄道研究部 B班」
- 内陸線社長賞「成城中学校・高等学校 鉄道研究部」

■ 写真部門

最優秀作品賞

岩倉高等学校 岡野健太郎さん



優秀作品賞

岩倉高等学校 高田光孝さん



優秀作品賞

成城中学校 若松鴻太さん



優秀作品賞

岩倉高等学校 鈴木新吉さん



佳作

成城高等学校 細井昭利さん



佳作

岩倉高等学校 上野 航さん



佳作

成城中学校 四方太一さん



佳作

安田学園高等学校 大屋慧吾さん



表彰／パブリシティ

■ヘッドマーク部門

最優秀賞

岩倉高等学校 柴野 睦さん



岩倉高等学校 2年 柴野 睦

優秀賞

岩倉高等学校 加藤留輝乃さん



岩倉高等学校 3年 加藤 留輝乃

優秀賞

成城中学校 土田三四郎さん



成城中学校 2年 土田 三四郎

■秋田さきがけ：2012年6月19日掲載



■おおだて新報：2012年8月22日掲載



■おおだて新報：2012年8月22日掲載



おわりに

全国高校生地方鉄道交流会は、ひとりの教師が始めた、小さな輪から始まった。

素朴な教師が鉄道を通して、子どもたちのためにできることを考えたのが「全国高校生地方鉄道交流会」だ。

自らが考え、行動する人材育成を念頭に、コミュニケーション能力を育み、考える力を養うことが目的だ。

「何か」や「誰か」のために何ができるか、自分が住む町の素晴らしさに気付くきっかけ作りにもなる。

様々な思いが形になる瞬間がその夏にある。

彼らは、教師の、熱い、思い以上の熱い夏を過ごすことができている。

明日を強く生きるための課題を受けに、子どもたちが毎年集まってくる。

それはきっと奇跡に違いない。

AIやゲームでは得られない、確かで、リアルな熱い夏が、いつも、必ず、来ることを私たち大人は約束しなければならない。

全国の子どもたちのために _____



一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会 代表理事
大溝 貫之